

(様式第 9)

千大財第 392 号
平成 25 年 10 月 2 日

関東信越厚生局長 殿

国立大学法人千葉大学長
齋藤 厚

千葉大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第 10）

2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第 11）

3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	43	人
--------	----	---

（注）前年度の研修医の実数を記入すること。

4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第 12）

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第 13）

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	249人	452人	544.8人	看護補助者	84人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	30人	31.8人	理学療法士	24人	臨床検査技師	76人
薬剤師	46人	12人	55.9人	作業療法士	11人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	30人	0人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	787人	31人	810.0人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	2人	2人	4.0人	栄養士	2人	その他の技術員	55人
歯科衛生士	1人	2人	2.7人	歯科技工士	0人	事務職員	268人
管理栄養士	4人	5人	9.0人	診療放射線技師	44人	その他の職員	31人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	747.8 人	13.5 人	761.3 人
1日当たり平均外来患者数	1,918.1 人	67.3 人	1,985.4 人
1日当たり平均調剤数	入院：834.3剤 外来：621.5剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	336人	・膿疱性乾癬	29人
・多発性硬化症	319人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	571人	・原発性胆汁性肝硬変	333人
・全身性エリテマトーデス	1354人	・重症急性膵炎	41人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	59人
・再生不良性貧血	133人	・混合性結合組織病	261人
・サルコイドーシス	817人	・原発性免疫不全症候群	30人
・筋萎縮性側索硬化症	57人	・特発性間質性肺炎	44人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	712人	・網膜色素変性症	584人
・特発性血小板減少性紫斑病	306人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	79人	・肺動脈性肺高血圧症	181人
・潰瘍性大腸炎	669人	・神経線維腫症	53人
・大動脈炎症候群	81人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	54人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	8人
・天疱瘡	243人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	45人
・脊髄小脳変性症	243人	・ライソゾーム病	7人
・クローン病	269人	・副腎白質ジストロフィー	6人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	23人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	305人
・悪性関節リウマチ	101人	・脊髄性筋萎縮症	63人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	667人	・球脊髄性筋萎縮症	35人
・アミロイドーシス	86人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	87人
・後縦靭帯骨化症	489人	・肥大型心筋症	190人
・ハンチントン病	15人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	52人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	162人	・リンパ管筋腫症(LAM)	9人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	173人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	73人	・黄色靭帯骨化症	77人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	783人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	池田 啓	アレルギー・膠原病 内科	¥3,750,000	補 委 厚生労働省
気管支喘息およびChurg - Straus症候群におけるTh9細胞の役割の解明	廣瀬 晃一	アレルギー・臨床免疫学	¥1,500,000	補 委 文部科学省
自己免疫疾患発症におけるSoxファミリー分子の役割の解明	須藤 明	アレルギー・臨床免疫学	¥1,300,000	補 委 文部科学省
関節リウマチのTh17細胞分化におけるWnt/カテニン-SGK1経路の役割の解明	加々美 新一郎	アレルギー・臨床免疫学	¥1,700,000	補 委 文部科学省
新規NF-κB抑制性シグナルの解明	鈴木 浩太郎	アレルギー・臨床免疫学	¥1,100,000	補 委 文部科学省
メモリーTh2細胞プール縮小療法の開発研究	中島 裕史	アレルギー・臨床免疫学	¥1,300,000	補 委 文部科学省
CD4陽性T細胞の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチの新規治療標的の同定	池田 啓	アレルギー・膠原病 内科	¥1,400,000	補 委 文部科学省
気管支喘息におけるIkarsファミリー分子の役割の解明	高取 宏昌	アレルギー・膠原病 内科	¥1,600,000	補 委 文部科学省
難治性喘息のTh17型気道炎症における気道上皮細胞および樹状細胞の役割の解明	中島 裕史	アレルギー・臨床免疫学	¥2,800,000	補 委 文部科学省 補助金分
難治性喘息のTh17型気道炎症における気道上皮細胞および樹状細胞の役割の解明	中島 裕史	アレルギー・臨床免疫学	¥2,400,000	補 委 文部科学省 基金分
気管支喘息における新規myeloid系細胞の役割の解明	岩田 有史	アレルギー・膠原病 内科	¥1,500,000	補 委 文部科学省
肺高血圧症治療における遺伝薬理学の応用	田邊 信宏	呼吸器内科	¥800,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
肺動脈原発血管内肉腫の発症機序解明および造血幹細胞分離・臨床応用への可能性	坂尾誠一郎	呼吸器内科	¥500,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
慢性肺気腫症の病態解析とCD40抑制による新規治療法の開発	多田裕司	呼吸器内科	¥1,500,000	補 委 学術研究助成基金 助成金
呼吸における神経可塑性の役割－睡眠中の上気道開存について	寺田二郎	呼吸器内科	¥1,000,000	補 委 学術研究助成基金 助成金
肥満残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	巽浩一郎	呼吸器内科	¥200,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
呼吸不全に関する調査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥1,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
薬剤性肺障害に関する包括的研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥300,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス総合研究事業
患者会を中心とした肺高血圧症の前向き症例登録研究の開発と予後調査に関する研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥500,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
肺静脈閉塞症(PVOD)の診断基準確立と治療方針作成のための統合研究	田邊信宏	呼吸器内科	¥800,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
びまん性肺疾患に関する調査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥ 300,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金難治性疾患克 服研究事業
「難治性稀少肺疾患(肺胞蛋白症、先 天性間質性肺疾患、オスラー病)」に 関する調査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥ 500,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金難治性疾患克 服研究事業
悪性胸膜中皮腫に対する新規治療法 開発	巽浩一郎	呼吸器内科	研究期間19年～26 年度で ¥150,000,000	補 委 受託研究 ニチャス株式会社
ヒ喉頭癌細胞由来の培養細胞におけ るリッチーム	巽浩一郎	呼吸器内科	¥10,000,000	補 委 受託研究 エーザイ株式会社
動脈硬化関連疾患のマーカー探索とその 応用	巽浩一郎	呼吸器内科	¥1,000,000	補 委 共同研究 藤倉化成株式会社
慢性閉塞性肺疾患などの生活習慣病 の精度の高いスクリーニングに関する調 査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥1,500,000	補 委 共同研究 つばき医療研究所
重粒子線がん治療臨床研究班臨床試 験	巽浩一郎	呼吸器内科	¥100,000	補 委 独立行政法人放射線 医学総合研究所 臨 床試験経費
癌転移臓器の幹細胞ニッチを標的とし たホスト環境の外科的制御に関する基 礎研究	柳原雅裕	乳腺・甲状腺外科	¥3,820,000	補 委 文部科学省
乳腺脂肪環境の癌発育における特異 性の検証と環境修飾による癌間質相互 作用の制御	藤本浩司	乳腺・甲状腺外科	¥3,200,000	補 委 文部科学省
乱用薬物による薬物依存の発症メカニ ズム・予防・診断及び治療法について の研究	伊豫雅臣	精神神経科	¥1,450,000	補 委 医薬品・医療機器等 レギュラトリーサイエンス 総合研究事業
治療抵抗性統合失調症に対する治療 戦略のためのデータベース構築に関する 研究	伊豫雅臣	精神神経科	¥400,000	補 委 障害者対策総合研究 事業(精神障害分野)
治療抵抗性統合失調症に対する抑肝 散の有用性と安全性に関する多施設共 同二重盲検ランダム化比較試験に関する 研究	伊豫雅臣	精神神経科	¥1,300,000	補 委 医療技術実用化総合 研究事業
注意欠陥多動性障害の病態機序解明 に基づく新規治療薬開発に関する研究	伊豫雅臣	精神神経科	¥1,800,000	補 委 精神神経疾患研究 開発事業
向精神薬の処方や対策に関する実態 調査と外部評価システム(臨床評価)に 関する研究	伊豫雅臣	精神神経科	研究代表者一括計 上	補 委 障害者対策総合研究 事業(精神障害分野)
専門的医療の普及の方策及び資質向 上策を含めた医療観察法の効果的な 運用に関する研究	伊豫雅臣	精神神経科	¥9,095,000 (分担研究分を含む)	補 委 障害者対策総合研究 事業(精神障害分野)
ドーパミン過感受性精神病と治療抵抗性 統合失調症: その疫学的検証と治療戦 略	金原信久	精神神経科	¥1,000,000	補 委 先進医薬研究振興 財団
腫瘍融解型センダイウイルスを用いた 脳腫瘍特異的な免疫遺伝子治療	岩立康男	脳神経外科	¥1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝性女性化乳房の実態把握と診断 基準の作成	生水 真紀夫	生殖医学	¥10,000,000	補 委 厚生労働省
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨 床のデータに基づき、医薬品の催奇形 性リスクの評価見直しに関する研究	生水 真紀夫	生殖医学	¥100,000	補 委 厚生労働省
胎盤のアロマターゼが性差発現に果た す役割についての個体発生・系統発生 学的研究	生水 真紀夫	生殖医学	¥5,600,000	補 委 文部科学省

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
メトホルミンによる子宮内膜癌の発癌予防に関する研究	三橋 暁	生殖医学	¥1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
卵巣明細胞腺癌の発生機序の解明と予後の検討	錦見 恭子	婦人科	¥1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新しいラット脳性麻痺モデルを使った黄体ホルモンの脳障害回避効果の検証	生水 真紀夫	生殖医学	¥1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
侵入奇胎の成因に関する遺伝子の探索	碓井 宏一	生殖医学	¥2,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
mTORシグナル伝達経路を標的とした、新たな子宮筋腫治療法の開発	石川 博士	生殖医学	¥1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
重粒子治療婦人科腫瘍臨床研究班	生水 真紀夫	生殖医学	¥200,000	補委 科学技術庁
重粒子治療婦人科腫瘍臨床研究班	三橋 暁	生殖医学	¥100,000	補委 科学技術庁
子宮頸部がんの危険因子としての喫煙に関する研究	三橋 暁	生殖医学	¥500,000	補委 喫煙科学研究財団
子宮内膜癌健診の若年者への適用拡大の検討と精度改善のための工夫	生水 真紀夫	生殖医学	¥2,000,000	補委 財団法人ちば県民 保健予防財団
再発卵巣がんに対するゲムシタピン＋イリノテカン併用療法－臨床第Ⅰ／Ⅱ相試験	楯 真一	生殖医学	¥1,000,000	補委 財団法人がん集学的 治療研究財団
ゆがみ補正と画像融合法を応用した手術ナビゲーション法の開発と乳癌温存療法への応用	風間 俊基	放射線科	¥780,000	補委 文部科学省
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB) の構築と運用	宇野 隆	放射線科	¥250,000	補委 厚生労働省
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	宇野 隆	放射線科	主任研究者による 一括管理	補委 厚生労働省
安全で高精度な放射線治療を実現する放射線治療体制に関する研究	宇野 隆	放射線科	¥600,000	補委 厚生労働省
高精度放射線治療システムの実態調査と臨床評価に関する研究	宇野 隆	放射線科	¥200,000	補委 厚生労働省
重粒子線がん治療臨床研究 上部消化器腫瘍臨床研究班	宇野 隆	放射線科	¥100,000	補委 放射線医学総合 研究所
重粒子線がん治療臨床研究 婦人科腫瘍臨床研究班	宇野 隆	放射線科	¥100,000	補委 放射線医学総合 研究所
消化器神経内分泌腫瘍の発生・進展機構の解明とそれを用いた分子標的治療の開発	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥1,690,000	補委 文部科学省
硬変肝切除後の類洞再生遅延の分子機構と血管内皮前駆細胞導入による肝再生促進の研究	清水宏明	肝胆膵外科	¥2,080,000	補委 文部科学省
組織幹細胞マーカーによる膵癌幹細胞の同定と周微小環境との相互作用の解明	吉富秀幸	肝胆膵外科	¥2,080,000	補委 文部科学省

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨形成蛋白(BNP7)による新たな生体肝移植後過小グラフト対策の開発	高屋敷 吏	肝胆膵外科	¥1,820,000	補委 文部科学省
癌源細胞に基づく原発性肝癌の多様性とマイクロRNA制御による新規治療法の開発	大塚将之	肝胆膵外科	¥1,170,000	補委 文部科学省
免疫栄養療法による高度侵襲手術に対するリスク軽減のための治療戦略	古川勝規	肝胆膵外科	¥1,950,000	補委 文部科学省
阻血障害肝切除の転写因子活性制御に伴う肝再生遅延機序へのPin1の関与の検討	久保木知	肝胆膵外科	¥2,080,000	補委 文部科学省
脂肪肝グラフト適応拡大へのリン酸化シグナルの解明と血管内皮前駆細胞を応用した戦略	吉留博之	肝胆膵外科	¥1,170,000	補委 文部科学省
膵がん切除例に対する補助療法の上を目指した多施設共同研究	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥500,000	補委 がん臨床研究事業 分担研究費
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究 一診療動向と治療成績の変化一	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥1,150,000	補委 がん臨床研究事業 分担研究費
放射線医学総合研究所 肝腫瘍臨床研究班	大塚将之	肝胆膵外科	¥150,000	補委 放射線医学総合 研究所
生体適合性ナノファイバーによる自己組織完全再生を目指した人工血管の開発	石坂 透	心臓血管外科	¥1,820,000	補委 文部科学省
インターロイキン-11を用いた新規心臓血管外科治療法の確立	黄野 皓木	心臓血管外科	¥1,950,000	補委 文部科学省
脂肪組織幹細胞由来心筋細胞シート移植 -大動物心不全モデルによる前臨床試験-	松宮 護郎	心臓血管外科	¥11,700,000	補委 文部科学省
主観的および客観的評価に基づく、苦痛の少ない内視鏡検査の確立に向けた検討	横須賀 收 新井 誠人	消化器内科	¥2,000,000	補委 公益財団法人ちば 県民保健予防財団
FISH法とDNA解析によるMAL2リンパ腫生体組織の染色体解析と治療への応用	磯部 公一	放射線科	¥1,600,000	補委 文部科学省
FISH法を用いたG2とM期の染色体変異解析による放射線感受性の定量と臨床応用	川田 哲也	放射線科	¥1,300,000	補委 文部科学省
MRI流速計測と数値流体解析モデルによる脳脊髄液流体動態の4次元解析と臨床応用	本折 健	放射線科	¥2,100,000	補委 文部科学省
中枢神経腫瘍に対するX線、重粒子線治療による個体の生殖機能への影響	宇野 隆	放射線科	¥2,300,000	補委 文部科学省
低周波を付加したMR画像による腫瘍硬度の定量化と腫瘍悪性度解析への臨床応用	山本 正二	放射線科	¥800,000	補委 文部科学省
子宮頸癌術後リンパ節転移に対する治療法適正化の研究	伊東 久夫	放射線科	¥26,000,000	補委 厚生労働省
がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究	宇野 隆	放射線科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
重粒子線治療研究 子宮がん研究班	伊東 久夫	放射線科	¥300,000	補委 放射線医学 総合研究所

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
B型慢性肝炎の核酸アナログ薬治療におけるdrug freeを目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究	神田 達郎	消化器内科	¥2,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
肝癌、膵癌における核内受容体と小胞体ストレスの相互作用に関する研究	神田 達郎	消化器内科	¥2,080,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
軸索興奮性測定を用いた糖尿病性神経障害、慢性疼痛の客観的評価と至適治療の確立	桑原 聡	神経内科	¥600,000	補 委 文部科学省
TDP-43過剰発現による孤発生ALSのサルモデル作製	桑原 聡	神経内科	¥1,000,000	補 委 文部科学省
胃電図を用いたパーキンソン病の超早期診断法の確立	朝比奈正人	神経内科	¥300,000	補 委 文部科学省
視神経脊髄炎患者血清中抗アクアポリン4抗体の抗原決定部位の解明	森 雅裕	神経内科	¥1,600,000	補 委 文部科学省
クロー深瀬症候群の病態機序解明と再発予防に対する新規治療法開発	三澤園子	神経内科	¥1,800,000	補 委 文部科学省
HMGB1の視神経脊髄炎の病態への関与の解明及び新規治療標的としての応用	鶴沢頭之	神経内科	¥1,800,000	補 委 文部科学省
効率的治療法確立を目的とした糖尿病性神経障害の疼痛機序の生理学的検討	関口 縁	神経内科	¥2,000,000	補 委 文部科学省
抗RGMaモノクローナル抗体を用いた末梢神経再生新規治療の開発	谷口順子	神経内科	¥1,400,000	補 委 文部科学省
神経変性疾患に関する調査研究	桑原 聡	神経内科	¥1,300,000	補 委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	桑原 聡	神経内科	¥1,150,000	補 委 厚生労働省
多発性硬化症に対する新規分子標的治療法の開発	桑原 聡	神経内科	¥1,500,000	補 委 厚生労働省
多発性硬化症に対する新規分子標的治療法の開発	森 雅裕	神経内科	¥800,000	補 委 厚生労働省
アトピー関連脳脊髄・末梢神経障害の病態解明と画期的治療法の開発	桑原 聡	神経内科	¥1,500,000	補 委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	朝比奈正人	神経内科	¥900,000	補 委 厚生労働省
突発性発汗異常・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的研究	朝比奈正人	神経内科	¥1,000,000	補 委 厚生労働省
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	桑原 聡	神経内科	¥800,000	補 委 厚生労働省
Crow Diseaseに対するサリドマイドの多施設共同、ランダム化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較試験及び長期安全性試験	桑原 聡	神経内科	¥88,634,000	補 委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[サリドマイド]	桑原 聡	神経内科	¥2,200,000	補 委 厚生労働省

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
治験の実施に関する研究〔酢酸リユー・プロレリン(追加第Ⅱ相試験)〕	山本達也	神経内科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
安全で質の高い薬物療法を支える病棟チーム	石井 伊都子	薬剤部	¥3,399,000	補委 厚生労働省
国際協力型 がん臨床指導者 養成拠点プログラム	石井 伊都子	薬剤部	¥1,000,000	補委 文部科学省
ER陽性乳がん細胞増殖への transporter の役割とその診断意義に関する検討	有吉 範高	薬剤部	¥1,000,000	補委 公益財団法人がん研究振興財団
薬物間相互作用によるボルテゾミブ有害事象の定量的解析と投与量設計への応用	鈴木 貴明	薬剤部	¥400,000	補委 日本学術振興会
血液がん患者における発熱性好中球減少症に対するアミノ配糖体系抗菌薬の投与法に関する検討	山形 真一	薬剤部	¥600,000	補委 日本学術振興会
複数規格を持つ抗がん薬の、組合せに対するコスト自動計算ツールの有用性に関する研究	松島 徹	薬剤部	¥400,000	補委 日本学術振興会
肝転移・腫瘍量が塩酸アムルピシンの骨髄抑制の重篤化に与える影響	今井 千晶	薬剤部	¥500,000	補委 日本学術振興会
ピンクリスチン母集団パラメータの算出	山崎 伸吾	薬剤部	¥600,000	補委 日本学術振興会
医療費抑制と注射剤販売規格の最適化に関する戦略的研究	横山 威一郎	薬剤部	¥400,000	補委 日本学術振興会
リウマチ疾患でsynbioticsが腸内環境とTh17/Treg細胞に及ぼす影響	竹田 真理子	薬剤部	¥600,000	補委 日本学術振興会
抗EGFR抗体薬応答性の個体差とFCGR多型の関連性を明らかにする臨床研究	渋谷 彩	薬剤部	¥500,000	補委 日本学術振興会
リウマチ疾患モデルマウスにおいてsynbiotics投与が病態に及ぼす影響	竹田 真理子	薬剤部	¥200,000	補委 静脈経腸栄養学会研究助成金(ニユートリ株式会社)
「細胞移植による肺再生療法実現のためのトランスレーショナル研究」	吉野一郎	呼吸器外科	¥4,700,000	補委 日本学術振興会
「Ⅱ型肺上皮を用いたドナー拡大に向けて—再生技術による死体肺移植の可能性」	吉田成利	呼吸器外科	¥1,100,000	補委 日本学術振興会
喫煙関連肺癌に対する新規治療法開発のための機能性RNAネットワークの解明」	吉野一郎	呼吸器外科	¥50,000	補委 日本学術振興会
「仮想肺組織量を指標とした肺切除後のリモデリング”代償性肺成長”の検証」	溝渕輝明	呼吸器外科	¥1,000,000	補委 日本学術振興会
「Ⅱ型肺上皮及びiPS細胞を利用した肺再生療法の開発」	坂入祐一	呼吸器外科	¥1,500,000	補委 日本学術振興会
「末梢小型非小細胞肺癌に対する縮小手術の有用性を検証する研究」	吉野一郎	呼吸器外科	¥1,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
「非小細胞肺癌に対するNKT細胞を用いた免疫細胞の開発研究」	吉野一郎	呼吸器外科	¥5,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
微量検体による肺癌の遺伝子検索システムの確立	坂入祐一	呼吸器外科	¥300,000	補委 ちば県民保健 予防財団
特異性肺腺癌の原因としての抗V型 コラーゲン自己免疫および胃食道逆流 症の関与	岩田剛和	呼吸器外科	¥700,000	補委 千葉大学研究支援 プログラム
生活習慣病形成におけるリンパ管シス テム破たんの役割の解明	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥6,500,000	補委 文部科学省
被災地の再生を考慮した在宅医療の構 築に関する研究	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
老年症の病態解明、診断・治療法の確 立と普及を目的とした全国研究	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥3,900,000	補委 厚生労働省
LCAT欠損症に対する遺伝子治療臨床 研究	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥29,000,000	補委 千葉大学医学部 附属病院
老年症群の疾患iPS細胞樹立と加齢性 変化の分子メカニズム解明	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥2,200,000	補委 文部科学省
保健指導等を活用した総合的な糖尿病 治療の年代別要因を踏まえた研究	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥500,000	補委 厚生労働省
日本人2型糖尿病患者における生活習 慣介入の長期予後効果並びに死亡率 とその危険因子に関する前向き研究	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥500,000	補委 厚生労働省
セマフォリン3g遺伝子解析による生活 習慣病の機序解明と新しいバイオマ ーカーの開発	竹本 稔	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥900,000	補委 文部科学省
代謝性疾患病態形成におけるTwist1の 機能解析と会合分子群の網羅的解析	藤本昌紀	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥600,000	補委 文部科学省
セマフォリン3gの解析を通じた心腎連関 の機序解明	小林一貴	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥1,400,000	補委 文部科学省
p53転写因子複合体によるクロマチン 機能調節とiPSリプログラム制御機構の 解明	田中知明	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥4,030,000	補委 文部科学省
転写因子p53のタンパクコードと細胞内 代謝エネルギー制御機構	田中知明	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥3,600,000	補委 文部科学省
核内コード解明を目指した分子間架橋 技術応用による次世代型転写因子研 究モデルの開発	田中知明	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥5,500,000	補委 千葉大学最先端・次世 代 研究開発支援プログラム
老化細胞分泌因子の代謝疾患との関 係解明とその臨床応用への検討	田中知明	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥4,000,000	補委 受託共同研究 (CREST)
RAGEシグナルによる骨芽/破骨細胞 間ネットワークとエピジェネティクス制御 機構	吉田知彦	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥1,100,000	補委 文部科学省
分子間架橋を応用したNFATc1複合体 解析による骨エピジェネティクスの基盤 的研究	田中知明	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥2,300,000	補委 文部科学省
分子間架橋を応用したNFATc1複合体 解析による骨エピジェネティクスの基盤 的研究	吉田知彦	糖尿病・代謝・内分 泌内科	¥2,000,000	補委 文部科学省
関節炎に対する体外衝撃波によるNF- kb Decoy 導入の有効性についての検 討	落合信靖	整形外科	¥1,500,000	補委 文部科学省

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腰痛の基礎的研究	青木保親	整形外科	¥1,500,000	補委 文部科学省
ラット腕神経叢損傷モデルにおける疼痛発生機序の解明と新規薬物療法の可能性	国吉一樹	整形外科	¥1,500,000	補委 文部科学省
腰痛・関節痛の機序・診断・新規治療法の開発	大鳥精司	整形外科	¥1,500,000	補委 文部科学省
かん性疼痛機序解明研究と内因性モルヒネ遺伝子導入による新しい鎮痛法の開発	男澤朝行	整形外科	¥1,500,000	補委 文部科学省
慢性運動器疼痛に対する抗NGF阻害の基礎的研究	高橋和久	整形外科	¥1,500,000	補委 文部科学省
慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究	紺野慎一	整形外科	¥500,000	補委 厚生労働省
椎間板性疼痛の研究	宮城正行	整形外科	¥1,000,000	補委 国際腰椎学会学会
神経根・末梢神経障害病変の可視化に対するDiffusion Tensor Imagingの臨床応用に向けた研究	及川泰宏	整形外科	¥1,000,000	補委 日本損害保険協会
末梢神経損傷の再生および疼痛関連因子に対する自家多血小板血漿Platelet Rich Plasma (PRP)移植の効果	折田純久	整形外科	¥1,000,000	補委 平成24年度第20回土屋文化振興財団研究助成金
変性椎間板に対するカプサイシン椎間板内投与による疼痛刺激がもたらす神経系賦活化に関する基礎的研究	折田純久	整形外科	¥1,000,000	補委 AO Spine Japan Research 2012
神経根・末梢神経障害病変の可視化に対するDiffusion Tensor Imagingの臨床応用に向けた研究	及川泰宏	整形外科	¥1,000,000	補委 AO Spine Japan Research 2012
高齢者骨粗鬆症患者の骨折に対する多血小板血漿 (platelet-rich plasma: PRP)、テリパラチド (ヒト副甲状腺ホルモン) 使用による骨癒合促進効果に関する多施設・前向きランダム化・臨床研究	大鳥精司	整形外科	¥1,000,000	補委 三井住友海上福祉財団
交通事故後難治性慢性疼痛に対する、生体モルヒネ遺伝子導入治療に関するin vivo研究 (筋挫傷モデル:ラット)	久保田剛	整形外科	¥1,000,000	補委 日本損害保険協会
ラット頸椎椎間板傷害モデルにおける抗NGF治療の効果の検討ー交通外傷後慢性頸部痛発症メカニズム解明と抗NGF療法に関する検討	宮城正行	整形外科	¥1,000,000	補委 JA共済 交通事故医療研究助成
組織的な若手研究者等海外派遣プログラム 米国スタンフォード大学における変形性股関節症治療の実態調査	岸田俊二	整形外科	¥1,000,000	補委 日本学術振興会
在外派遣事業 スタンフォード大学での人工関節手術研修	岸田俊二	整形外科	¥2,802,000	補委 千葉大学医学部 附属病院
股関節における疼痛の発生・増強機序に関わる生理活性物質の解明と臨床への応用	中村順一	整形外科	¥4,290,000	補委 文部科学省
日本リウマチ学会若手リウマチ医トレーニングプログラム	中村順一	整形外科	¥1,200,000	補委 日本リウマチ学会
シンボニー市販後使用成績調査	中村順一	整形外科	¥140,000	補委 田辺三菱製薬株式会社
大腿骨頭壊死症における体外衝撃波の有効性の検討	中村順一	整形外科	¥500,000	補委 田辺三菱製薬株式会社

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進入方法の違いによる人工股関節全置換術における術後成績に関する研究	中村順一	整形外科	¥500,000	補委 武田薬品工業株式会社
免疫療法による花粉症予防と免疫療法のガイドライン作成に向けた研究	岡本 美孝(代表) 櫻井 大樹(分担)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥12,239,000	補委 厚生労働省
鼻粘膜を介したNKT細胞活性化による頭頸部癌に対するアジュバント療法の開発	岡本美孝	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥12,800,000	補委 文部科学省
核酸医薬の併用による上顎癌新規治療法の確立に向けた基礎的研究	花澤豊行	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,400,000	補委 文部科学省
アレルギー特異的IgE型長期生存抗体産生細胞の形成阻害剤の開発	稲嶺絢子	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,400,000	補委 文部科学省
頭頸部癌による腫瘍免疫抑制機構の解明と新規治療法の開発	櫻井大樹	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,600,000	補委 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌の新規予後マーカー開発	堅田浩司	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥160,757	補委 文部科学省
頭頸部癌アウトカム・リサーチに関する基礎	茶菌英明	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥270,000	補委 文部科学省
上気道好酸球性炎症疾患におけるメモリーT細胞とCD69の意義の検討	山本 陸三朗	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,900,000	補委 文部科学省
スギ花粉症における免疫療法の効果を予測するための生体由来因子の測定	岡本美孝	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥4,463,969	補委 受託研究(鳥居)
独自開発ウイルス成分とのハイブリッドリポソームによる癌の新規分子標的治療薬の開発	丹沢秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥13,130,000	補委 文部科学省
口腔癌患者末梢血中の循環ミトコンドリアDNAモニタリングによる予後判定法の開発	丹沢秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥1,560,000	補委 文部科学省
独自開発癌特異的吸着性ハイブリッド型リポソームを用いた画像診断用強化造影剤の開発	鵜澤一弘	歯科・顎・口腔外科	¥4,290,000	補委 文部科学省
EGFR/FGFRデュアルインヒビターによる放射線耐性克服強化療法の開発	鵜澤一弘	歯科・顎・口腔外科	¥1,430,000	補委 文部科学省
アルドーストース還元酵素による抗癌剤多剤耐性機構を阻害した新規強化化学療法	椎葉正史	歯科・顎・口腔外科	¥1,950,000	補委 文部科学省
唾液腺細胞の継代安定培養法を用いた唾液分泌細胞再生療法の開発	笠松厚志	歯科・顎・口腔外科	¥4,160,000	補委 文部科学省
CEA遺伝子familyの癌と周囲組織における発現と相互作用の検討	小池博文	歯科・顎・口腔外科	¥1,430,000	補委 文部科学省
口腔癌におけるHOX遺伝子群の発現状態と癌関連遺伝子への影響・制御の検討	神津由直	歯科・顎・口腔外科	¥2,210,000	補委 文部科学省
歯学分野に関する学術研究動向調査研究	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥1,870,000	補委 学術振興会
シスプラチン(CDDP)治療効果遺伝子診断キット開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥1,375,000	補委 高信化学

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
細胞接着ネットワーク制御による癌転移・浸潤制御薬物療法の開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥400,000	補委 JST
PDE3Bインヒビターを用いた抗癌剤治療増強法の開発	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	¥847,200	補委 JST
AKRインヒビターを用いた頭頸部癌放射線化学療法効果増強法の開発	椎葉 正史	歯科・顎・口腔外科	¥847,200	補委 JST
先進医療開発推進経費	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥5,000,000	補委 千葉大学医学部 附属病院
セレコックス錠100mg・200mg使用成績調査	坂本 洋右	歯科・顎・口腔外科	¥900,900	補委 アステラス製薬
計算解剖モデルに基づく診断支援	仁木登	臨床腫瘍部	¥500,000	補委 文部科学省
癌幹細胞をターゲットにした肺癌分子標的治療の開発	滝口裕一	臨床腫瘍部	¥1,430,000	補委 文部科学省
上皮成長因子受容体下流シグナル系の個人差についての検索	堺田恵美子	臨床腫瘍部	¥910,000	補委 文部科学省
転換神経細胞による疼痛治療	青江知彦	麻酔疼痛緩和医療科	¥1,200,000	補委 文部科学省
重粒子線がん治療臨床研究班 上部消化器腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	¥200,000	補委 放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 下部消化管腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	¥200,000	補委 放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 上部消化器腫瘍臨床研究班	阿久津泰典	食道・胃腸外科	¥100,000	補委 放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 下部消化管腫瘍臨床研究班	宮内英聡	食道・胃腸外科	¥100,000	補委 放射線医学総合研究所
食道癌に対する新規癌抗原ペプチドを用いたワクチン療法の開発	松原久裕	食道・胃腸外科	¥2,000,000	補委 東京大学医科学研究所
シスプラチン(CDDP)治療効果遺伝子診断キットの開発	松原久裕	食道・胃腸外科	¥1,350,000	補委 高信化学
鎮静下胃内視鏡的粘膜下層剥離術中の患者唾液アミラーゼによる術中管理システムの構築	上里 昌也	食道・胃腸外科	¥1,000,000	補委 日本学術振興会
miR-203を介した食道癌の増殖・浸潤・転移の発現・機能解析	森 幹人	食道・胃腸外科	¥1,200,000	補委 日本学術振興会
食道癌における足場非依存性増殖と上皮間葉移行の機序解明	松原久裕	食道・胃腸外科	¥1,300,000	補委 日本学術振興会
早期診断マルチバイオマーカー開発(血中エクソソームの定量プロテオーム解析による新規腫瘍マーカーの開発における検体収集、候補分子評価)	松原久裕 (分担研究者)	食道・胃腸外科	¥1,818,182	補委 文部科学省受託研究 (JST・松原)
戦略的臨床検体活用による消化器癌研究拠点	松原久裕	食道・胃腸外科	¥2,000,000	補委 千葉大学 COEスタートアッププログラム

共同研究

共同研究

計 20

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
拡散強調MRIによる食道癌補助療法 の早期効果判定法と効果予測法の開発	首藤潔彦	食道・胃腸外科	900,000	補委 千葉大学 科研費申請支援
遺伝子導入のない成熟膵腺房細胞の リプログラミングにおける遺伝子発現の 包括的検索	鈴木一史	食道・胃腸外科	750,000	補委 日本臓器保存生物医学 学会研究奨励賞
固形癌の早期局在診断に有用な膜タン パク質のプロテオーム解析	松原久裕 (分担研究者)	食道・胃腸外科	主任研究者による 一括管理	補委 学術振興会
癌転移を抑制するmiRNAの標的タン パク質のプロテオーム解析による探索	松原久裕 (分担研究者)	食道・胃腸外科	主任研究者による 一括管理	補委 学術振興会
キナーゼ活性化レベル測定SRM法による 抗EGFR抗体薬効果予測診断法の開発	松原久裕 (分担研究者)	食道・胃腸外科	主任研究者による 一括管理	補委 厚生労働省
医療機関選択に寄与する情報方法お よび情報の内容に関する検討	大平善之	総合診療部	¥2,000,000	補委 厚生労働省
新規白血球表面抗原LR11の白血病 および正常造血における役割の解明	武内正博	血液内科	¥1,100,000	補委 文部科学省
白血病の分化制御規定因子PRDM16と その生理的インヒビターLR11の機能解 析	清水直美	血液内科	¥900,000	補委 文部科学省
新規バイオマーカーLR11の急性白血 病および悪性リンパ腫における有用性 の確立	大和田千桂子	血液内科	¥1,400,000	補委 文部科学省
心筋前駆細胞/ナノファイバー複合体 移植による心筋再生機序の解明	永井 敏雄	循環器内科	¥2,500,000	補委 日本学術振興会 平成24年度挑戦的萌芽研 究
内在性心筋幹/前駆細胞の分化誘導 因子とニッチ構造の探索	永井 敏雄	循環器内科	¥2,000,000	補委 日本学術振興会 平成24年度挑戦的萌芽研 究
老化血管内皮細胞の炎症亢進表現型 におけるCDC42シグナルの解析	伊藤 孝	循環器内科	¥1,700,000	補委 平成24年度 若手研究(B)
重症虚血性心疾患に対する末梢血単 核球移植による血管再生治療	小林 欣夫	循環器内科	¥17,600,000	補委 千葉大学医学部附属病院 先進医療開発推進
臨床研究の国際化に向けて研究組織 のハブ機能の拡充と人材育成に関する 研究	花岡 英紀	臨床試験部	¥113,250,000	補委 厚生労働省
アカデミック臨床研究機関(ARO)による プロジェクト管理型Investigator Initiated Trial (IIT)	花岡 英紀	臨床試験部	¥90,000,000	補委 厚生労働省
家族性LCAT欠損症患者に対する細胞 加工医薬品「LCAT遺伝子導入ヒト前脂 肪細胞」の早期実用化にむけた非臨床 試験	花岡 英紀	臨床試験部	¥2,000,000	補委 厚生労働省
非小細胞肺癌に対するNKT細胞を用 いた免疫細胞治療の開発研究	花岡 英紀	臨床試験部	¥5,000,000	補委 厚生労働省
高齢者における心不全在宅医療に関 する研究	花岡 英紀	臨床試験部	¥6,000,000	補委 厚生労働省
Crow-Fukase症候群に対するサリドマイ ドの多施設共同、ランダム化、プラセボ 対照、二重盲検、並行群間比較試験及 び長期安全性試験	桑原 聡	神経内科	¥6,000,000	補委 日本医師会治験促進 センター (厚生労働省)
転換神経細胞による疼痛治療	青江知彦	麻酔疼痛緩和医療 科	¥1,200,000	補委 文部科学省

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Rheumatology (Oxford)	Alteration of circulating microRNAs in systemic sclerosis: microRNA-30b regulates the expression of platelet-derived growth factor receptor β .	Tanaka S, Suto A, Ikeda K, Nakajima H et al.	アレルギー・膠原病内科
Mod Rheumatol	Analysis of the factors influencing the measurement of synovial power Doppler signals with semi-quantitative and quantitative measures in rheumatoid arthritis - a pilot multicenter exercise in Japan.	Ikeda K, Nakagomi D, Nakajima H, et al	アレルギー・膠原病内科
Arthritis Rheum	Confirming the presence of synovitis with ultrasound improves the accuracy of 2010 ACR/EULAR classification criteria for rheumatoid arthritis.	Nakagomi D, Ikeda K, Nakajima H, et al	アレルギー・膠原病内科
J Invest Dermatol.	B and T lymphocyte attenuator expressed on CD8+ T cells inhibits contact hypersensitivity reaction.	Nakagomi D, Suzuki K, Nakajima H, et al	アレルギー・膠原病内科
Proc Natl Acad Sci USA	B and T lymphocyte attenuator inhibits LPS-induced endotoxic shock by suppressing TLR4 signaling in innate immune cells.	Kobayashi Y, Iwata A, Nakajima H et al	アレルギー・膠原病内科
Int Arch Allergy Immunol	IL-25 induces pulmonary arterial remodeling by NKT cell-dependent mechanisms.	Kawashima S, Hirose K, Nakajima H et al	アレルギー・膠原病内科
Rheumatology (Oxford)	[¹⁸ F] FDG uptake in proximal muscles assessed by PET/CT reflects both global and local muscular inflammation and provides useful information in the management of patients with polymyositis/dermatomyositis.	Tanaka S, Ikeda K, Nakajima H et al	アレルギー・膠原病内科
Int Arch Allergy Immunol	Roles of ORTH2+ CD4+ T cells in IgG4-related lacrimal gland enlargement.	Saito Y, Kagami S-I, Nakajima H et al	アレルギー・膠原病内科
J Immunol	β -glucan curdlan induces IL-10-producing CD4+ T cells and inhibits allergic airway inflammation.	Kawashima S, Hirose K, Nakajima H et al	アレルギー・膠原病内科
Int Arch Allergy Immunol.	Critical roles of IKK subunits in mast cell degranulation.	Nakagomi D, Suzuki K, Nakajima H et al	アレルギー・膠原病内科
Chest	Subpleural perfusion as a predictor for a poor surgical outcome in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tanabe N 田邊信宏	呼吸器内科
Intern Med	Survival of Japanese patients with pulmonary arterial hypertension after the introduction of endothelin receptor antagonists and/or phosphodiesterase type-5 inhibitors.	Sakao S 坂尾誠一郎	呼吸器内科
Oncol Lett	Molecular mechanisms of lung-specific toxicity induced by epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors	Sakao S 坂尾誠一郎	呼吸器内科
J Immunol	Resolution of experimental lung injury by monocyte-derived inducible nitric oxide synthase	Tsushima K 津島健司	呼吸器内科
Sarcoidosis vasculitis and diffuse lung diseases.	Historical changes in epidemiology of diffuse panbronchiolitis	Sakurai T 櫻井隆之	呼吸器内科

計 15

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	CD40 amplifies Fas-mediated apoptosis: a mechanism contributing to emphysema.	Shigeta A 重田文子	呼吸器内科
Int J Cardiol	Characterization of myofibroblasts in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Sakao S 坂尾誠一郎	呼吸器内科
Life Sci	Role of CD69 in acute lung injury.	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
J Thorac Oncol.	E1B-55 Kda-Defective Adenoviruses Activate p53 in Mesothelioma and Enhance Cytotoxicity of Anticancer Agents.	Tada Y 多田裕司	呼吸器内科
Chest.	Role of 320-slice computerd tomography in the diagnostic of patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Sugiura T 杉浦寿彦	呼吸器内科
Oncol Rep	Interaction and cross-resistance of cisplatin and pemetrexed in malignant pleural mesothelioma cell lines.	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
Sarcoidosis Vasculitis and Diffuse Lung Diseases	Feasibility of cytological diagnosis of sardoidosis with endobronchial US-guided transbronchial aspiration.	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
Oncol Rep	Antiproliferative action of metformin in human lung cancer cell lines	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
Int J Oncol	Characterization of sarcoma-like cells derived from endarterectomized tissues from patients with CTEPH and establishment of a mouse model of pulmonary artery intimal sarcoma.	Jujo T 重城喬行	呼吸器内科
Clin Vaccine Immunol.	Immunogenicity of a monovalent A/H1pdm vaccine with or without prior seasonal influenza vaccine administration.	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
Cell Immunol	Expression of a murine homolog of apoptosis-inducing human IL-24/MDA-7 in murine tumors fails to induce apoptosis or produce anti-tumor effects.	Tada Y 多田裕司	呼吸器内科
Cancer Gene Ther.	Upregulated p53 expression activates apoptotic pathways in wild-type p53-bearing mesothelioma and enhances cytotoxicity of cisplatin and pemetrexed.	Tada Y 多田裕司	呼吸器内科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	Cytoskeletal defects in Bmpr2-associated pulmonary arterial hypertension.	Tada Y 多田裕司	呼吸器内科
J Thorac Oncol.	Zoledronic acid produces antitumor effects on mesothelioma through apoptosis and S-Phase arrest in p53-independent and ras prenylation-independent manners.	Tada Y 多田裕司	呼吸器内科
Pulmonary Circulation	Metabolomic analysis of bone morphogenetic protein receptor type 2 mutations in human pulmonary endothelium reveals widespread metabolic reprogramming.	Tada Y 多田裕司	呼吸器内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Thorac Cardiovasc Surg	Long-term outcome after pulmonary endarterectomy for chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
Respir Investig	Evaluation of a learning system for endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration.	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
Respirology	Desquamative interstitial pneumonia may progress to lung fibrosis as characterized radiologically.	Tastumi K 巽浩一郎	呼吸器内科
Inflammation	Increased interleukin-8 in epithelial lining fluid of collapsed lungs during one-lung ventilation for thoracotomy.	Tsushima K 津島健司	呼吸器内科
Cancer Chemother Pharmacol.	A phase II trial of erlotinib in patients with EGFR wild-type advanced non-small-cell lung cancer.	Tsushima K 津島健司	呼吸器内科
Respirology	Potential benefits of early continuous positive pressure ventilation in patients with rapidly progressive interstitial pneumonia.	Tsushima K 津島健司	呼吸器内科
Thoracic Cancer	Histological types and localizations of lung cancers in patients with combined pulmonary fibrosis and emphysema.	Tsushima K 津島健司	呼吸器内科
Intern Med	Metastatic gastric cancer from squamous cell lung carcinoma.	Jujo T 重城喬行	呼吸器内科
気管支学	超音波ガイド下経気管支針生検が術前診断に有用であった迷走神経由来中縦隔神経鞘腫の一例	重城喬行	呼吸器内科
日呼吸誌	HTLV-1キャリアに合併した間質性肺炎のステロイド治療中に発症した続発性肺胞蛋白症の1例	藤田哲雄	呼吸器内科
日呼吸誌	気管支充填術が有用であった <i>Mycobacterium avium</i> complexによる気胸・胸膜炎の1例	藤田哲雄	呼吸器内科
Cancer	Aldehyde dehydrogenase 1-positive cells in axillary lymph node metastases after chemotherapy as a prognostic factor in patients with lymph node-positive breast cancer.	Sakakibara M	乳腺・甲状腺外科
Clin Cancer Res	Biomarkers of Response to Akt Inhibitor MK-2206 in Breast Cancer.	Sangai T	乳腺・甲状腺外科
Cancer Lett	Multistage delivery of chemotherapeutic nanoparticles for breast cancer treatment.	Sangai T	乳腺・甲状腺外科
日本臨牀	血清プロテオミクスによるスクリーニングマーカー同定	門脇正美	乳腺・甲状腺外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨牀	センチネルリンパ節生検と腋窩リンパ節郭清省略の予測因子	鈴木浩志	乳腺・甲状腺外科
日本臨牀	幹細胞マーカーALDH1とリンパ節転移	藤森俊彦	乳腺・甲状腺外科
日本臨床外会誌	乳癌センチネルリンパ節生検における潜在性転移の臨床的意義	長嶋 健	乳腺・甲状腺外科
Journal of Endourology	Analysis of Energy Loss Mediated by an Alpha-1 Blocker in Patients with Benign Prostatic Hyperplasia Using a Virtual Urethra Processed from an Endoscopic Video Image.	Sazuka T	泌尿器科
Int J Urol.	Preoperative masked renal damage in Japanese patients with primary aldosteronism: Identification of predictors for chronic kidney disease manifested after adrenalectomy.	Utsumi T	泌尿器科
Asia Pacific Journal of Counselling and Psychotherapy	Cognitive behavioural therapy for somatoform pain disorder in adolescents: a case study.	Kyoji Okita	精神神経科
Ann Gen Psychiatry	Tandospirone, a 5-HT1A partial agonist is effective in treating anorexia nervosa: a case series.	Kyoji Okita	精神神経科
Open Journal of Psychiatry	No change of attitude toward forensic psychiatry: 5 years after the Medical Treatment and Supervision Act in Japan.	Akihiro Shiina	精神神経科
The Open Nutrition Journal	Effectiveness of Enteral Formula with Enriched Polyunsaturated Fatty Acids in the Treatment of Anorexia Nervosa: A Pilot Open Case Study.	Michiko Nakazato	精神神経科
Ann Gen Psychiatry	Treatment of refractory catatonic schizophrenia with low dose aripiprazole.	Tsuyoshi Sasaki	精神神経科
IUBMB Life	Possible involvement of brain-derived neurotrophic factor in eating disorders.	Michiko Nakazato	精神神経科
PLoS One	Decreased Serum Levels of Mature Brain-Derived Neurotrophic Factor (BDNF), but Not Its Precursor proBDNF, in Patients with Major Depressive Disorder.	Taisuke Yoshida	精神神経科
Clin Neuropharmacology	Lamotrigine in binge-eating disorder associated with bipolar II depression and treatment-resistant type 2 diabetes mellitus: a case report.	Tetsuya Yamamoto	精神神経科
Schizophr Research	Orbitofrontal cortex abnormality and deficit schizophrenia.	Nobuhisa Kanahara	精神神経科
MedEdWorld	The Effect of a New Educational Model on the Motivation of Novice Japanese Psychiatrists to enter Forensic Psychiatry.	Kyoji Okita	精神神経科

計 15

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Forensic Research	Beyond Binder: Determination of Criminal Responsibility while in a State of Drunkenness by Japanese Courts.	Akihiro Shiina	精神神経科
Current Medicinal Chemistry	Recent advances in the potential therapeutic drugs for cognitive deficits in schizophrenia	Taisuke Yoshida	精神神経科
Open Clin. Chem. J.	Serum levels of mature brain-derived neurotrophic factor (BDNF) and its precursor proBDNF in healthy subjects.	Taisuke Yoshida	精神神経科
Front Neurol	Effect of the Green/Blue flicker matrix for p300-based brain-computer interface: An EEG-fMRI study.	池上史郎	脳神経外科
Am J Obstet Gynecol 2012	Giant multilocular sex cord tumor with annular tubules associated with precocious puberty	Ishikawa H, Shozu M, et al.	生殖医学
Circulation Journal 2012	Evaluation of transplacental treatment for fetal congenital bradyarrhythmia: A Nationwide survey in Japan	Miyoshi T, Shozu M, et al.	生殖医学
International Journal of Gynecological Pathology 2012	Expression of Angiotensin II receptor-like 1 (APJ) in the Placentas of Pregnancy-Induced Hypertension	Furuya M, Usui H, Shozu M, et al.	生殖医学
PLoS One. 2012	Role of stem cells in human uterine leiomyoma growth	Ono M, Kakinuma T, et al.	婦人科
Journal of Reproductive Medicine 2012	Normal human Chorionic Gonadotropin Regression Curves in Uneventful Postmolar Patients	Kizaki S, Usui H, Shozu M, et al.	生殖医学
Int'l J of Endocrinology 2012	Molecular Bases and Phenotypic Determinants of Aromatase Excess Syndrome	Fukami M, Shozu M, and Ogata T	生殖医学
Fertil Steril. 2012	Activated glucocorticoid and eicosanoid pathways in endometriosis	Monsivais D, Kakinuma T, et al.	婦人科
The Journal of Reproductive Medicine 2012	Complicating Preeclampsia as a Predictor of Poor Survival of the Fetus in complete Hydatidiform Mole Coexistent with Twin Fetus	Kihara M, Usui H, Tanaka H, Shozu M, et al.	生殖医学・周産期母性科
Int J Gynecol Cancer. 2012	Daily Low-Dose Cisplatin-Based Concurrent Chemoradiotherapy in Patients with Uterine Cervical Cancer with Emphasis on Elderly Patients: A Phase 2 Trial	Mitsuhashi A, Usui H, Nishikimi K, Yamamoto N, Tate S, Shozu M. et al.	生殖医学・婦人科
Int J Gynecol Cancer 2012	HLA class II DRB1*1302 allele protects against progression to cervical intraepithelial neoplasia grade 3: a multicenter prospective cohort study	Matsumoto K, Mitsuhashi A, et al	生殖医学
J Perinatol. 2012	Risk factors for maternal outcome in pregnancy complicated with dilated cardiomyopathy	Katsuragi S, Omoto A, et al.	周産期母性科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Clin Oncol. 2012	Subsequent risks for cervical precancer and cancer in women with low-grade squamous intraepithelial lesions unconfirmed by colposcopy-directed biopsy: results from a multicenter, prospective, cohort study	Matsumoto K, Mitsuhashi A, et al	生殖医学
J Med Virol. 2012	Do neutralizing antibody responses generated by human papillomavirus infections favor a better outcome of low-grade cervical lesions?	Ochi H, Mitsuhashi A, et al.	生殖医学
Int J Clin Oncol. 2012	Cigarette smoke stimulates VEGF-C expression in cervical intraepithelial neoplasia (CIN) 1 and 2 lesions	Inamine M, Mitsuhashi A, et al.	生殖医学
Int J Clin Oncol. 2012	Association between carotenoids and outcome of cervical intraepithelial neoplasia: a prospective cohort study	Fujii T, N, Mitsuhashi A, et al.	生殖医学
Jpn. J. Clin. Oncol.	The incidence and significance of retropharyngeal lymph node metastases in hypopharyngeal cancer.	Harada R	放射線科
Spine J.	Dumbbell-shaped nonschwannomatous malignant melanotic schwannoma of the cervical spinal root.	Yokota H	放射線科
J Magn Reson Imaging.	Diffusion-weighted MRI as an adjunct to mammography in women under 50 years of age: an initial study.	Kazama T	放射線科
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	Multi-institutional analysis of solitary extramedullary plasmacytoma of the head and neck treated with curative radiotherapy.	Sasaki R	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	Patterns of Radiotherapy Practice for Patients with Cervical Cancer in Japan, 2003-2005: Changing Trends in the Pattern of Care Process.	Tomita N	放射線科
Eur. J. Radiol.	Can pretreatment ADC values predict recurrence of bladder cancer after transurethral resection?	Funatsu H	放射線科
Ann Surg Oncol	Surgical Resection after Downsizing Chemotherapy for Initially Unresectable Locally Advanced Biliary Tract Cancer: A Retrospective Single-center Study.	加藤 厚	肝胆膵外科
Br. J. Surg	Chylous Ascites After Hepato-Pancreato-Biliary Surgery	久保木 知	肝胆膵外科
Clin Exp Metastasis	CXCR4/CXCL12 expression profile is associated with tumor microenvironment and clinical outcome of liver metastases of colorectal cancer.	酒井 望	肝胆膵外科
Hepato-Gastroenterol	Intrahepatic cholangiojejunostomy (Longmire procedure) for recurrent bilioenteric anastomotic stricture with hepatolithiasis.	清水宏明	肝胆膵外科
Journal of Medical Case Reports	Percutaneous transhepatic metallic stent insertion for malignant afferent loop obstruction following pancreaticoduodenectomy: a case report	細川 勇	肝胆膵外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Heart Circ Physiol	Therapeutic Administration of IL-11 Exhibits the Post-conditioning Effects against Ischemia Reperfusion Injury via STAT3 in the Heart.	松宮 護郎	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg.	Long-term outcome after pulmonary endarterectomy for chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	石田 敬一	心臓血管外科 (冠動脈疾患治療部)
J Thorac Cardiovasc Surg.	Assessment of functional tricuspid regurgitation using 320-detector-row multislice computed tomography: Risk factor analysis for recurrent regurgitation after tricuspid annuloplasty.	椛沢 政司	心臓血管外科
Gastrointestinal Endoscopy	Comparison of the diagnostic accuracy of peroral video-cholangioscopic visual findings and cholangioscopy-guided forceps biopsy findings for indeterminate biliary lesions: a prospective study.	Nishikawa T	消化器内科
Int J Cancer	3-Deazaneplanocin A is a promising therapeutic agent for the eradication of tumor-initiating hepatocellular carcinoma cells.	Chiba T, et al.	消化器内科
Hepatol Res	Aldehyde dehydrogenase 1 is associated with recurrence-free survival but not stem cell-like properties in hepatocellular carcinoma.	Suzuki E, et al.	消化器内科
Magn Reson Imaging	Gadoxetic acid-enhanced MRI compared with CT during angiography in the diagnosis of hepatocellular carcinoma.	Ooka Y, et al.	消化器内科
Eur J Gastroenterol Hepatol.	Quantification of hepatitis B surface antigen can help predict spontaneous hepatitis B surface antigen seroclearance.	Arai M	消化器内科
Dig Dis Sci.	Intestinal Epithelial Cells with Impaired Autophagy Lose Their Adhesive Capacity in the Presence of TNF- α .	Saito M, Katsuno T	消化器内科
Brain.	Subthalamic deep brain stimulation can improve gastric emptying in Parkinson's disease.	Arai E, Arai M	消化器内科
Clin Res Hepatol Gastroenterol.	Clinical significance of endoscopic ultrasound for gastric submucosal tumors.	Hata S, Arai M	消化器内科
Clinical significance of endoscopic ultrasound for gastric submucosal tumors.	Flicking method: A novel colonoscope insertion method for surveillance colonoscopy in ulcerative colitis patients.	Sato T, Katsuno T	消化器内科
Aliment Pharmacol Ther.	Predictive factors of response to intravenous ciclosporin in severe ulcerative colitis: the development of a novel prediction formula.	Saito K, Katsuno T	消化器内科
Clin Res Hepatol Gastroenterol.	Intragastric acidity during the first day following administration of low-dose proton pump inhibitors: A randomized crossover study.	Hata S, Arai M	消化器内科
Eur J Clin Nutr.	Concomitant use of enteral nutrition therapy is associated with sustained response to infliximab in patients with Crohn's disease.	Sazuka S, Katsuno T	消化器内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastrointest Endosc.	Efficacy of computed image modification of capsule endoscopy in patients with obscure gastrointestinal bleeding.	Matsumura T, Arai M	消化器内科
Endoscopy.	Clinical outcomes of endoscopic resection for nonampullary duodenal high-grade dysplasia and intramucosal carcinoma.	Maruoka D, Arai M	消化器内科
Scand J Gastroenterol.	Utility of unsedated transnasal endoscopy for pharyngeal observation during esophagogastroduodenoscopy. A prospective study to assess cardiopulmonary function.	Tsuboi M, Arai M	消化器内科
Hepatol Int	Response to peginterferon-alpha 2b and ribavirin in Japanese patients with chronic hepatitis C genotype 1.	Kanda T	消化器内科
J Infect Dis	Hepatitis B e antigen physically associates with receptor-interacting serine/threonine protein kinase 2 and regulates IL-6 gene expression.	Kanda T	消化器内科
Hepatol Res	Hepatitis A outbreak associated with a revolving sushi bar in Chiba, Japan: application of molecular epidemiology.	Kanda T	消化器内科
Hepatol Res	Hepatitis A, B, C and E virus markers in Chinese residing in Tokyo, Japan.	Kanda T	消化器内科
Viral Immunol	Interleukin 29 suppresses hepatitis A and C viral internal ribosomal entry site-mediated translation.	Kanda T	消化器内科
Anticancer Res	Knockdown of Receptor-Interacting Serine/Threonine Protein Kinase-2 (RIPK2) Affects EMT-Associated Gene Expression in Human Hepatoma Cells.	Kanda T	消化器内科
Viruses	Roles of ITPA and IL28B Genotypes in Chronic Hepatitis C Patients Treated with Peginterferon Plus Ribavirin.	Kanda T	消化器内科
Int J Med Sci	Peginterferon alfa-2a plus ribavirin in Japanese patients infected with hepatitis C virus genotype 2 who failed previous interferon therapy.	Kanda T	消化器内科
Case Rep Gastroenterol	Acute liver failure in an antimitochondrial antibody-positive 63-year-old man.	Kanda T	消化器内科
Hepatol Int	APASL Consensus Statements and Management Algorithms for Hepatitis C Virus Infection.	Kanda T	消化器内科
Biology	Hepatitis C virus and hepatocellular carcinoma.	Kanda T	消化器内科
Clin J Gastroenterol	Natural interferon-beta plus ribavirin therapy led to sustained virological response after seven unsuccessful courses of anti-viral treatment in a chronic hepatitis C patient.	Kanda T	消化器内科

計 15

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatology International	Delayed periportal enhancement: a characteristic finding on contrast ultrasound in idiopathic portal hypertension.	Hitoshi Maruyama	消化器内科
Ultrasound in Medicine and Biology	Heterogeneity of microbubble accumulation: a novel approach to discriminate between well differentiated hepatocellular carcinomas and regenerative nodules.	Hitoshi Maruyama	消化器内科
European Radiology	Demonstration of intrahepatic accumulated microbubble on ultrasound represents the grade of hepatic fibrosis.	Hiroyuki Ishibashi	消化器内科
British Journal of Radiology	Non-invasive portography: a microbubble-induced three-dimensional sonogram for discriminating idiopathic portal hypertension from cirrhosis.	Hitoshi Maruyama	消化器内科
Abdominal Imaging	Prediction of the therapeutic effects of anticoagulation for recent portal vein thrombosis: a novel approach with contrast-enhanced ultrasound.	Hitoshi Maruyama	消化器内科
Scandinavian Journal of Gastroenterology	Emergency anticoagulation treatment for cirrhosis patients with portal vein thrombosis and acute variceal bleeding	Hitoshi Maruyama	消化器内科
Ultrasound in Medicine and Biology	Heterogeneous staining in the liver parenchyma after the injection of perflubutane microbubble contrast agent.	Taro Shimada	消化器内科
Ultrasound in Medicine and Biology	Linear enhancement after radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma; is it a sign of recurrence?	Masanori Takahashi	消化器内科
European Journal of Radiology	Characterization of small hepatic lesions (≤ 30 mm) with liver-specific contrast agents: A comparison between ultrasound and magnetic resonance imaging.	Masanori Takahashi	消化器内科
American Journal of Roentgenology	Pre-treatment microbubble-induced enhancement in hepatocellular carcinoma predicts intrahepatic distant recurrence after radiofrequency ablation.	Hitoshi Maruyama	消化器内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	The split hand syndrome in amyotrophic lateral sclerosis.	Eisen A,	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Functional brain imaging of cognitive dysfunction in Parkinson's disease.	Hirano S,	神経内科
Clin Neurophysiol	Clinical neurophysiology and immunology of E-C coupling of muscle.	Kuwabara S.	神経内科
Cochrane Database Syst Rev	Treatment for POEMS (polyneuropathy, organomegaly, endocrinopathy, M-protein, and skin changes) syndrome.	Kuwabara S.	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Immune-mediated neuropathies induced by immunosuppressive treatment.	Kuwabara S.	神経内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurobiol Dis	Pathophysiology of bladder dysfunction in Parkinson's disease.	Sakakibara R,	神経内科
Clin Neurophysiol	Electrodiagnostic criteria for Guillain-Barre syndrome: A critical revision and the need for an update.	Uncini A.	神経内科
Neurourol Urodyn	"Meningitis-retention syndrome": A review.	Sakakibara R,	神経内科
Brain	Subthalamic deep brain stimulation can improve gastric emptying in Parkinson's disease.	Arai E,	神経内科
J Neurol Sci	Plasma levodopa peak delay and impaired gastric emptying in Parkinson's disease.	Doi H,	神経内科
Clin Neurophysiol	Differences in excitability between median and superficial radial sensory axons.	Fujimaki Y,	神経内科
J Neurol Sci	Preserved autonomic function in patients with POEMS syndrome.	Fujinuma Y,	神経内科
J Hum Genet	Pentanucleotide repeat-primed PCR for genetic diagnosis of spinocerebellar ataxia type 31.	Ishige T,	神経内科
LUTS: Lower Urinary Tract Symptoms	Is Major Depression a Risk for Bladder, Bowel, and Sexual Dysfunction?	Ito T,	神経内科
Neurology	Markedly upregulated serum interleukin-12 as a novel biomarker in POEMS syndrome.	Kanai K,	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Motor axonal excitability properties are strong predictors for survival in amyotrophic lateral sclerosis.	Kanai K,	神経内科
Diagnostics	Visual Suppression is Impaired in Spinocerebellar Ataxia Type 6 but Preserved in Benign Paroxysmal Positional Vertigo.	Kishi M,	神経内科
Pediatrics International	A case of meningoencephalitis associated with macrolideresistant Mycoplasma pneumoniae infection.	Koga S,	神経内科
J Neurol	Seroconversion of anti-aquaporin-4 antibody in NMO spectrum disorder: a case report.	Mori M,	神経内科
Psychogeriatrics	Molecular imaging of dementia.	Mori T,	神経内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Different neurological and physiological profiles in POEMS syndrome and chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	Nasu S,	神経内科
Neurol Sci	Constipation triggered the malignant syndrome in Parkinson's disease.	Ogawa E,	神経内科
Mov Disord	Flattened facial colliculus on magnetic resonance imaging in Machado-Joseph disease.	Ogawa Y,	神経内科
Lancet	Persistent hiccups followed by cardiorespiratory arrest.	Okada S,	神経内科
Am J Neurodegener Dis	Amnesic mild cognitive impairment with low myocardial metaiodobenzylguanidine uptake.	Sakakibara R,	神経内科
Neurol Int	Vascular incontinence: incontinence in the elderly due to ischemic white matter changes.	Sakakibara R,	神経内科
Current Drug Therapy	"Vascular incontinence" and normal-pressure hydrocephalus: two common sources of elderly incontinence with brain etiologies.	Sakakibara R,	神経内科
Curr Bladder Dysfunct Rep	Psychogenic Urinary Dysfunction in Children and Adults.	Sakakibara R,	神経内科
Bone Marrow Transplant	Factors associated with the efficiency of PBSC collection in POEMS syndrome patients undergoing autologous PBSC transplantation.	Shimizu N,	神経内科
Bone Marrow Transplant	Mobilization of PBSCs in poor mobilizers with POEMS syndrome using G-CSF with plerixafor.	Shimizu N,	神経内科
Chiba Medical J	Dynamic postural control: Reoetitive alternative rotation of the head and thorax.	Shimoyama I,	神経内科
International Medical Journal.	Quantitative analysis for a cube drawing test for mild cognitive impairment.	Shimoyama I,	神経内科
International Medical Journal.	Differences between a solid cube and Necker's cube for the cube drawing test.	Shimoyama I,	神経内科
J Am Geriatr Soc	White matter lesions or Alzheimer's disease: which contributes more to overactive bladder and incontinence in elderly adults with dementia?	Takahashi O,	神経内科
LUTS: Lower Urinary Tract Symptoms	Do Sacral/Peripheral Lesions Contribute to Detrusor-Sphincter Dyssynergia?	Takahashi O,	神経内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychopharmacology (Berl).	Striatal and extrastriatal dopamine D ₂ receptor occupancy by the partial agonist antipsychotic drug aripiprazole in the human brain: a positron emission tomography study with [¹¹ C]raclopride and [¹¹ C]FLB457.	Takahata K,	神経内科
Alzheimer Dis Assoc Disord	Alpha-synuclein in the Cerebrospinal Fluid Differentiates Synucleinopathies (Parkinson Disease, Dementia With Lewy Bodies, Multiple System Atrophy) From Alzheimer Disease.	Tateno F,	神経内科
J Am Geriatr Soc	Constipation and metaiodobenzylguanidine myocardial scintigraphy abnormality.	Tateno F,	神経内科
LUTS: Lower Urinary Tract Symptoms	Lower Urinary Tract Function in Spinocerebellar Ataxia 6.	Tateno F,	神経内科
LUTS: Lower Urinary Tract Symptoms	Brainstem Stroke and Increased Anal Tone.	Tateno F,	神経内科
Mov Disord	Weak detrusor contractility correlates with motor disorders in Parkinson's disease.	Terayama K,	神経内科
J Neurol	When is neuromyelitis optica diagnosed after disease onset?	Uzawa A,	神経内科
Clin Neurol Neurosurg	Anti-N-methyl D-aspartate-type glutamate receptor antibody-positive limbic encephalitis in a patient with multiple sclerosis.	Uzawa A,	神経内科
Intern Med	A case of primary central nervous system lymphoma presenting diffuse infiltrative leukoencephalopathy.	Yamamoto T,	神経内科
NeuroUrol Urodyn	Receiver operating characteristic analysis of sphincter electromyography for parkinsonian syndrome.	Yamamoto T,	神経内科
Cerebellum	Cutaneous sympathetic dysfunction in patients with machado-joseph disease.	Yamanaka Y,	神経内科
Case Rep Neurol	A case of adult-onset alexander disease featuring severe atrophy of the medulla oblongata and upper cervical cord on magnetic resonance imaging.	Yonezu T,	神経内科
J Neurol	Guillain-Barre syndrome associated with normal or exaggerated tendon reflexes.	Yuki N,	神経内科
BMC Musculoskeletal Disord	Pathologic thoracic spine fracture in presence of Parkinson's disease and diffuse ankylosis: successful management of a challenging condition.	Aoki Y,	神経内科
Parkinsonism Relat Disord	Skin temperature of the hand in multiple system atrophy and Parkinson's disease.	Asahina M,	神経内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurol	Role of intestinal peptides and the autonomic nervous system in postprandial hypotension in patients with multiple system atrophy.	Fukushima T,	神経内科
Spine (Phila Pa 1976).	Cervical myelopathy in patients with athetoid cerebralpalsy.	Furuya T,	神経内科
Mult Scler	Diffuse and heterogeneous T2-hyperintense lesions in the splenium are characteristic of neuromyelitis optica.	Makino T,	神経内科
Mult Scler	Seasonality of multiple sclerosis and neuromyelitis optica exacerbations in Japan.	Muto M,	神経内科
Neurology	Isolated ocular flutter.	Nasu S,	神経内科
Int J Urol	Editorial comment to Effective management of lower urinary tract dysfunction in idiopathic Parkinson's disease.	Sakakibara R.	神経内科
Mov Disord	beta-amyloid in lewy body disease is related to Alzheimer's disease-like atrophy.	Shimada H,	神経内科
J Stroke Cerebrovasc Dis	Stroke and cardio-ankle vascular stiffness index.	Suzuki J,	神経内科
Clin Neurophysiol	Reply to "Serial electrodiagnostic studies increase the diagnostic yield of axonal Guillain-Barre syndrome".	Uncini A,	神経内科
Ann Hematol	Multiple angiogenetic factors are upregulated in POEMS syndrome.	Yamada Y,	神経内科
CLINICIAN	【チーム医療とチームケア】専門職連携教育(IP E)、現場の医師との協働.	朝比奈真由美	神経内科
臨床整形外科	整形外科/知ってるつもり 神経因性膀胱.	内山智之	神経内科
Progress in Medicine	【過活動膀胱診療を考える】併存疾患による過活動膀胱への影響とその対策 脳血管障害による排尿障害.	内山智之	神経内科
自律神経	α 1受容体遮断薬.	内山智之	神経内科
Clinical Neuroscience	検査からみる神経疾患 重症筋無力症における筋興奮収縮連関評価法.	桑原 聡	神経内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Neuroscience	【類似する神経症候・徴候を正しく理解する-神経診断のピットフォール】Guillain-Barre症候群の脱髄型と軸索型.	桑原 聡	神経内科
日本内科学会雑誌	【内科疾患と脳神経疾患:診断と治療の進歩】血液疾患と脳神経疾患 M蛋白血症と末梢神経障害.	桑原 聡	神経内科
臨床栄養	【腸管と免疫・栄養 腸内細菌から疾患を理解する】腸内細菌と疾患 ギラン・バレー症候群.	桑原 聡	神経内科
脳21	【筋萎縮性側索硬化症の診断と治療】ALS臨床診断のトピックス Split hand.	桑原 聡	神経内科
Clinical Neuroscience	【脊椎・脊髄-up to date】脊椎・脊髄の症候と診断筋萎縮性側索硬化症におけるsplit hand徴候.	桑原 聡	神経内科
内科	【知っておきたい内科症候群】神経・筋(腫瘍関連症候群)クロー・深瀬(POEMS)症候群.	桑原 聡	神経内科
Journal of Clinical Rehabilitation	【神経難病のリハビリテーション-症例を通して学ぶ】第2章 症例を通して学ぶ神経難病のリハビリテーション 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー総説を含めた症例について.	桑原 聡	神経内科
Peripheral Nerve	神経生理学の視点から:CIDPの病変分布は血液神経関門により規定される.	桑原 聡	神経内科
Pharma Medica	千葉県におけるパーキンソン病治療の現状と今後の展望.	桑原 聡	神経内科
Geriatric Medicine	【高齢者の頻尿と尿失禁】脳血管性失禁そのほかの中核疾患と排尿障害.	榊原隆次	神経内科
泌尿器外科	【尿流動態検査の現在】神経疾患における尿流動態検査 近赤外線分光法(NIRS)を含めて.	榊原隆次	神経内科
Brain Medical	【自律神経とその病気】排尿排便障害.	榊原隆次	神経内科
Progress in Medicine	【過活動膀胱診療を考える】併存疾患による過活動膀胱への影響とその対策 パーキンソン病.	榊原隆次	神経内科
自律神経	自律神経と脳画像のオーバービューと膀胱系.	榊原隆次	神経内科
日本レーザー治療学会誌	神経因性膀胱のメカニズム: 低出力レーザーの応用を含めて.	榊原隆次	神経内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	【痛みの神経学-末梢神経から脳まで】神経障害性疼痛の中枢性機序 脳機能画像.	平野成樹	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	糖尿病と脳画像研究 アルツハイマー病発症機序との関連を考える.	平野成樹	神経内科
Modern Physician	【前立腺肥大症の診療最前線-薬物療法を中心に-】前立腺肥大症と関連症状 過活動膀胱と尿失禁.	布施美樹	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	【痛みの神経学-末梢神経から脳まで】神経障害性疼痛の病態 末梢Na ⁺ チャネルの観点から.	三澤園子	神経内科
プラクティス	糖尿病の療養指導Q&A 糖尿病神経障害 糖尿病神経障害の新薬治療について教えてください.	三澤園子	神経内科
末梢神経	コメディカル・レジデント教育セミナー4 その他の絞扼性ニューロパチー(肘部管症候群、橈骨神経麻痺、腓骨神経麻痺)	三澤園子	神経内科
排尿障害プラクティス	治療法紹介 Magnetic stimulation 蓄尿障害.	山口千晴	神経内科
泌尿器外科	【尿流動態検査の現在】尿道機能をみる尿流動態検査.	山口千晴	神経内科
排尿障害プラクティス	各種排尿・性機能スコアの妥当性(第2回) 過活動膀胱質問票(OAB-q).	山西友典	神経内科
自律神経	下部尿路におけるβ-アドレナリン受容体サブタイプの役割.	山西友典	神経内科
Frontiers in Parkinson Disease	パーキンソン病のVisual View パーキンソン病におけるジスキネジア発症のメカニズム.	山本達也	神経内科
Clinical Neuroscience	MSAの臨床症候 排尿・その他の自律神経障害.	榊原隆次	神経内科
Clinical Neuroscience	MSAの治療 薬物治療.	榊原隆次	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	特集:Corticobasal Syndrome CBSにおける画像診断.	篠遠 仁	神経内科
脊椎脊髄ジャーナル	【脊椎脊髄疾患の診断と鑑別診断のための電気生理学的検査】多巣性運動ニューロパチー・慢性炎症性脱髄性多発神経炎の電気診断.	三澤園子	神経内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
神経内科	軸索型 Guillain-Barré症候群.	三澤園子	神経内科
泌尿器外科	神経因性膀胱に対する治療戦略2 -他科からコンサルテーションを受けた時に困らないために-末梢神経障害による神経因性膀胱-糖尿病による神経因性膀胱-	山本達也	神経内科
Clinical Neuroscience	MSAの臨床検査 排尿障害検査.	山本達也	神経内科
排尿障害プラクティス	パーキンソン病の排泄障害 5.排尿障害の実験的検討.	山本達也	神経内科
化学療法の領域	連載 目で見える真菌と真菌症(15)診療科・基礎疾患から見た大切な真菌症 10. 真菌による中枢神経感染症.	米津禎宏	神経内科
医学教育	医師養成課程におけるプロフェッショナルリズム教育の現状調査.	朝比奈真由美	神経内科
医療	カンファレンスでの情報共有による筋萎縮性側索硬化症患者に対する心理的ケアの改善効果.	加藤麻美	神経内科
臨床神経学	頭部外傷後に発症した成人型vanishing white matter diseaseが疑われる20歳男性例.	古賀俊輔	神経内科
心臓	心室細動を契機に発見された心尖部瘤を伴う心室中部閉塞性肥大型心筋症の1例.	古賀俊輔	神経内科
自律神経	過活動膀胱患者における尿意と脳機能に対するイミダフェナシンの影響 リアルタイムNIRS-ウロダイナミクス同時測定による検討.	榊原隆次	神経内科
小児科臨床	てんかん治療中に自殺行為の認められた部分てんかんの5症例.	玉置一智	神経内科
自律神経	佐藤貴浩、朝比奈正人、横関博雄、岩瀬 敏、片山一朗、佐野健司、藤本智子、宗次太吉、渡辺大輔. 特発性後天性全身性無汗症診療ガイドライン.	中里良彦	神経内科
Clin Chim Acta	Inverse correlation between stroke and urinary 3-hydroxypropyl mercapturic acid, an acrolein-glutathione metabolite	Ishii I	薬剤部
Atherosclerosis	Acrolein-conjugated low-density lipoprotein induces macrophage foam cell formation	Watanabe K Ishii I	薬剤部
Drug Metab Pharmacokinetic	Development of a simple method for detection of HLA-A*31:01 allele	Ariyoshi N	薬剤部

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医薬品情報学	シクロスポリン細粒の分包調剤後の光安定性に関する検討	山崎 伸吾 中村 裕義	薬剤部
日本外科感染症学会雑誌	詳細なTherapeutic Drug Monitoring (TDM)に基づいた塩酸バンコマイシン投与スケジュール設計法の臨床的効果	山形 真一	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	使用実態からみたTPNの適正使用に関する検討	新井 健一 仲佐 啓詳	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	スナッフ・ショットを用いた抗菌薬の適正使用推進の試み ～感染制御チームとの連携～	三浦 剛 中村 裕義	薬剤部
TDM研究	FPIA法を用いた薬物モニタリングへの蛍光眼底造影剤の干渉	三浦 剛 中村 裕義	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	眼科クリニカルパスにおける点眼手技評価方法の統一化に向けた取り組み	山口 洪樹 三浦 剛	薬剤部
医療薬学	造血幹細胞移植後のシクロスポリンによる腎障害の危険因子の解析	宮本 仁 鈴木 貴明	薬剤部
医療薬学	簡易遺伝子診断法の開発・実臨床への適用による医薬品適正使用の推進	有吉 範高	薬剤部
J Thoracic Oncol.	Surgical Outcome of Stage IIIA- cN2/pN2 Non-Small-Cell Lung Cancer Patients in Japanese Lung Cancer Registry Study in 2004.	Yoshino I.	呼吸器外科
Ann Thorac Surg.	Endobronchial ultrasonography in a patient with a mediastinal thoracic duct cyst.	Wada H.	呼吸器外科
J Thorac Oncol.	Vascular image patterns of lymph nodes for the prediction of metastatic disease during EBUS-TBNA for mediastinal staging of lung cancer.	Nakajima T.	呼吸器外科
Int J Surg Pathol.	Significance of the correlation between the expression of interleukin 6 and clinical features in patients with non-small cell lung cancer.	Koh E.	呼吸器外科
J Vis Exp.	Development of obliterative bronchiolitis in a murine model of orthotopic lung transplantation.	Suzuki H.	呼吸器外科
J Clin Immunol.	Accumulation of Activated Invariant Natural Killer T Cells in the Tumor Microenvironment after α -Galactosylceramide-Pulsed Antigen Presenting Cells.	Nagato K.	呼吸器外科
J Thorac Oncol	Endobronchial ultrasound doppler image features correlate with mRNA expression of HIF1- α and VEGF-C in patients with non-small-cell lung cancer.	Nakajima T.	呼吸器外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surg Today.	Surgical treatment for non-small cell lung cancer with ipsilateral pulmonary metastases.	Okamoto T.	呼吸器外科
Ann Thorac Surg.	Ribonucleic acid microarray analysis from lymph node samples obtained by endobronchial ultrasonography-guided transbronchial needle aspiration.	Nakajima T.	呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg.	Current status and perspective of EBUS-TBNA.	Nakajima T.	呼吸器外科
Surg Today.	Substantial risk affects the stage-dependent outcomes of cisplatin-based adjuvant chemotherapy for completely resected non-small cell lung cancer.	Yoshino I.	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌	肺動脈より血液供給された肺葉外肺分画症の一例：本邦報告例の検討	鎌田稔子	呼吸器外科
気管支学	超音波気管支鏡(Endobronchial ultrasound)、現状と今後の展望	中島崇裕	呼吸器外科
J Atheroscler Thromb	Multicenter Study to Determine the Diagnosis Criteria of Heterozygous Familial Hypercholesterolemia in Japan.	Yokote K, Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
J Atheroscler Thromb	Guidelines for the Management of Familial Hypercholesterolemia.	Bujo H, Yokote K	糖尿病・代謝・内分泌内科
Diabetology International	Glycemic control and bone metabolism in postmenopausal women with type 2 diabetes mellitus.	Suzuki S, Yoshida T	糖尿病・代謝・内分泌内科
J Am Geriatr Soc	Incidence and characteristics of metabolic disorders and vascular complications in individuals with Werner syndrome in Japan.	Okabe E, Takemoto M	糖尿病・代謝・内分泌内科
Acta Diabetologica	Japanese diabetic patients with Werner syndrome exhibit high incidence of cancer.	Onishi S, Takemoto M	糖尿病・代謝・内分泌内科
Diabetes Care	Sitagliptin successfully ameliorates glycemic control in a Werner's syndrome with diabetes mellitus.	Kitamoto T, Takemoto M	糖尿病・代謝・内分泌内科
European Journal of Pharmacology	The anti-ulcer agent, irsogladine, increases insulin secretion by MIN6 cells.	Sakurai K	糖尿病・代謝・内分泌内科
Clin Chim Acta	Increased circulating soluble LR11 in patients with acute coronary syndrome.	Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
Am J Ophthalmol	Enhanced circulating soluble LR11 in patients with diabetic retinopathy.	Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科

計 15

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Mol Med	Platelet-rich plasma inhibits the apoptosis of highly adipogenic homogeneous preadipocytes in an in vitro culture system.	Kuroda M、 Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci	SORL1 genetic variants and cerebrospinal fluid biomarkers of Alzheimer's disease.	Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
J Atheroscler Thromb	Background to discuss guidelines for control of plasma HDL-cholesterol in Japan.	Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
J Atheroscler Thromb	Management of type IIb dyslipidemia.	Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
J Atheroscler Thromb	Diagnosis and management of type I and type V hyperlipoproteinemia.	Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
J Alzheimers Dis	Interrelations between CSF soluble A β PP β , amyloid- β 1-42, SORL1, and tau levels in Alzheimer's disease.	Bujo H	糖尿病・代謝・内分泌内科
Spine J. 2013 Mar;13(3)	I κ B kinase β inhibitor downregulates pain-related neuropeptide production in the sensory neurons innervating injured lumbar intervertebral discs in the dorsal root ganglia of rats.	Orita S	整形外科
Eur Spine J. 2013 Aug;22(8)	Additional decompression at adjacent segments leads to adjacent segment degeneration after PLIF.	Miyagi M	整形外科
BMC Musculoskelet Disord. 2013 Feb 11;14:61.	Pathologic thoracic spine fracture in presence of Parkinson's disease and diffuse ankylosis: successful management of a challenging condition.	Aoki Y	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2013 Apr 15;38(8)	Comparison of teriparatide and bisphosphonate treatment to reduce pedicle screw loosening after lumbar spinal fusion surgery in postmenopausal women with osteoporosis from a bone quality perspective	Ohtori S	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2013 Mar 15;38(6)	The effect of Anti-NGF receptor (p75 Neurotrophin Receptor) antibodies on nociceptive behavior and activation of spinal microglia in the rat brachial plexus avulsion model.	Matsuura Y	整形外科
J Med Case Rep. 2013 Jan 9;7(1)	Delayed surgical treatment for a traumatic bilateral cervical facet joint dislocation using a posterior-anterior approach: a case report.	Shimada T	整形外科
Spine 2012 Apr 1;37(7)	Investigation of dichotomizing sensory nerve fibers projecting to the lumbar multifidus muscles and intervertebral disk or facet joint or sacroiliac joint in rats.	Umimura, T	整形外科
BMC Musculoskeletal disorders 2011 Jun 16	Pain-related sensory innervation in monoiodoacetate-induced osteoarthritis in rat knees that gradually develops neuronal injury in addition to inflammatory pain.	Orita S	整形外科
European Orthopaedics and Traumatology. 2011	Neuropathic pain in patients with osteoarthritis of hip joint.	Shigemura T	整形外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Rheumatology 2011 Nov;50(11)	Incidence of osteonecrosis associated with corticosteroid therapy among different underlying diseases: prospective MRI study.	Shigemura T	整形外科
J Hand Surg Am. 2012 Feb;37(2)	Single Versus Double End-to-Side Nerve Grafts in Rats.	Iwakura N	整形外科
J Orthop Sci. 2012 Jan;17(1)	Percutaneously absorbed NSAIDs attenuate local production of proinflammatory cytokines and suppress the expression of c-Fos in the spinal cord of a rodent model of knee osteoarthritis.	Orita S	整形外科
J Orthop Sci. 2011 Nov;16(6)	Dorsal root ganglion neurons with dichotomizing axons projecting to the hip joint and the knee skin in rats: possible mechanism of referred knee pain in hip joint disease.	Miura Y	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 Mar 15;37(6)	Epidural Administration of Spinal Nerves with the Tumor Necrosis Factor-Alpha Inhibitor, Etanercept, Compared with Dexamethasone for Treatment of Sciatica in Patients with Lumbar Spinal Stenosis: A Prospective Randomized Study.	Ohtori S	整形外科
Lupus. 2012 Mar;21(3)	Recovery of the blood flow around the femoral head during early corticosteroid therapy: Dynamic MRI in systemic lupus erythematosus patients.	Nakamura J	整形外科
J MagnReson Imaging. 2011 Nov;34(5)	Quantitative T2 mapping of femoral head cartilage in systemic lupus erythematosus patients with noncollapsed osteonecrosis of the femoral head associated with corticosteroid therapy.	Yamamoto S	整形外科
AJNR Am J Neuroradiol. 2011 Nov-Dec;32(10)	Quantitative evaluation and visualization of lumbar foraminal nerve root entrapment by using diffusion tensor imaging: preliminary results.	Eguchi Y	整形外科
Yonsei Med. J. 2012 Mar;53(2)	Clinical incidence of sacroiliac joint arthritis and pain after sacropelvic fixation for spinal deformity.	Ohtori S	整形外科
Yonsei Med J 2012 Jul 1;53(4)	Transdermal Fentanyl for Chronic Low Back Pain.	Ohtori S	整形外科
Bone and Joint Researc. 2012	Proton Magnetic Resonance Spectroscopy of the Thalamus in Patients with Osteoarthritis of the Hip Joint.	Shigemura T	整形外科
Journal of Spine. 2012	Surgical Experience in Cases of L5 and S1 Symptoms Caused by Upper Lumbar Spinal Stenosis of L2-L3 and L3-L4.	Eguchi Y	整形外科
Yonsei Med. J. 2012 Jul 1;53(4)	Existence of a neuropathic pain component in patients with osteoarthritis of the knee.	Ohtori S	整形外科
Spine 2012 Oct 1;37(21)	Disk Dynamic Compression in Rats Produces Long-Lasting Increases in Inflammatory Mediators in Disks and Induces Long-Lasting Nerve Injury and Regeneration of the Afferent Fibers Innervating Disks: A Pathomechanism for Chronic Diskogenic Low Back Pain.	Miyagi M	整形外科
Eur Spine J. 2012	Efficacy of epidural administration of anti-interleukin-6 receptor antibody onto spinal nerve for treatment of sciatica.	Ohtori S	整形外科

計 15

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Spine 2012	Sensory and Autonomic Innervation of the Cervical Intervertebral Disk in Rats: The Pathomechanics of Chronic Discogenic Neck Pain.	Fujimoto K	整形外科
Mod Rheumatol. 2012	Distribution of hip pain in osteoarthritis patients secondary to developmental dysplasia of the hip.	Nakamura J	整形外科
J Orthop Res. 2012 Oct;30(10)	Degeneration and recovery of the neuromuscular junction after application of extracorporeal shock wave therapy.	Kenmoku T	整形外科
Spine. 2012 Sep 15;37(20)	Platelet-Rich Plasma Combined with Hydroxyapatite for Lumbar Interbody Fusion Promoted Bone Formation and Decreased an Inflammatory Pain Neuropeptide in Rats.	Kamoda H	整形外科
Chiba Medical J. 2012	Limaprost, a prostaglandin E1 analog, improves pain and ABI in patients with lumbar spinal stenosis.	Ohtori S	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 Oct 1;37(21)	Asymmetrical pedicle subtraction osteotomy for rigid degenerative lumbar kyphoscoliosis.	Toyone T	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 May 25.	Difficulty of Diagnosing the Origin of Lower Leg Pain in Patients with Both Lumbar Spinal Stenosis and Hip Joint Osteoarthritis.	Saito J	整形外科
J Shoulder Elbow Surg. 2012 May 18.	Sensory innervation of rat contracture shoulder model.	Ochiai N	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 May 30.	Differences Between TNF-alpha Receptors Type 1 and Type 2 in the Modulation of Spinal Glial Cell Activation and Mechanical Allodynia in a Rat Sciatic Nerve Injury Model.	Ishikawa T	整形外科
J Neurosurg Spine. 2012 Aug;17(2)	A prospective randomized controlled study comparing transforaminal lumbar interbody fusion techniques for degenerative spondylolisthesis: unilateral pedicle screw and 1 cage versus bilateral pedicle screws and 2 cages.	Aoki Y	整形外科
Neuroreport. 2012 Aug 22;23(12)	Human platelet-rich plasma promotes axon growth in brain-spinal cord coculture.	Takeuchi M	整形外科
Rheumatology (Oxford). 2012 Oct;51(10)	Sensory innervation and inflammatory cytokines in hypertrophic synovia associated with pain transmission in osteoarthritis of the hip: a case-control study.	Takeshita M	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 Nov1;37(23)	Teriparatide Accelerates Lumbar Posterolateral Fusion in Postmenopausal Women With Osteoporosis: Prospective Study.	Ohtori S	整形外科
Spine (Phila Pa1976). 2012 Sep 17.	Tumor Necrosis Factor- α -Immunoreactive Cells in Nucleus Pulposus in Adolescent Patients With Lumbar Disc Herniation.	Ohtori S	整形外科
Asian Spine J. 2012	No Acceleration of Intervertebral Disc Degeneration after A Single Injection of Bupivacaine in Young Age Group with Follow-Up of 5 Years.	Ohtori S	整形外科

計 15

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Yonsei Medical J 2012	Conservative and surgical treatment improves pain and ankle-brachial index in patients with lumbar spinal stenosis.	Ohtori S	整形外科
Pain Res Treat. 2012	Evaluation of nonspecific low back pain using a new detailed visual analogue scale for patients in motion, standing, and sitting: characterizing nonspecific low back pain in elderly patients.	Aoki Y	整形外科
Eur Spine J. 2012 Dec 28.	L5 spinal nerve injury caused by misplacement of outwardly-inserted S1 pedicle screws.	Inoue M	整形外科
Mod Rheumatol. 2012 Jul 21.	Failure of conservative treatment for thoracic spine fracture in ankylosing spondylitis: delayed neurological deficit due to spinal epidural hematoma.	Aoki Y	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 Nov 15	Acute Lumbar Spinal Pseudogout Attack After Instrumented Surgery.	Ogawa Y	整形外科
Mod Rheumatol. 2012 Jul 21	Failure of conservative treatment for thoracic spine fracture in ankylosing spondylitis: delayed neurological deficit due to spinal epidural hematoma.	Aoki Y	整形外科
DiagnPathol. 2012 Nov 7	Postoperative lumbar spinal stenosis after intertransverse fusion with granules of hydroxyapatite: a case report.	Inoue G	整形外科
Lupus	Recovery of the blood flow around the femoral head during early corticosteroid therapy: Dynamic MRI in systemic lupus erythematosus patients.	Nakamura J	整形外科
Rheumatology (Oxford)	Sensory innervation and inflammatory cytokines in hypertrophic synovia associated with pain transmission in osteoarthritis of the hip: a case control study.	Takashita M	整形外科
Rheumatology (Oxford)	The incidence of alcohol-associated osteonecrosis of the knee is lower than the incidence of steroid-associated osteonecrosis of the knee: a MRI study.	Shigemura T	整形外科
Orthopedics	Acetabular Liner Revision using an Anterolateral Approach.	Shigemura T	整形外科
Bone Joint Res	Proton Magnetic Resonance Spectroscopy of the Thalamus in Patients with Osteoarthritis of the Hip Joint.	Shigemura T	整形外科
Hip Joint.	ステロイド性大腿骨頭壊死症に対する体外衝撃波療法の安全性と除痛効果	中村 順一	整形外科
Hip Joint.	股関節鏡が術式選択に有効であった色素性絨毛結節性滑液包炎の1例	貞升 彩	整形外科
Hip Joint.	磁気共鳴スペクトロスコピーを用いた慢性疼痛の定量的評価	重村 知徳	整形外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hip Joint.	人工股関節全置換術後感染に急性リンパ球性血管関連病変を合併した1例	瓦井 裕也	整形外科
Hip Joint.	三次元術前計画ソフトウェアを用いたセメントレスモジュラーシステムにおけるネック長、頸部前後捻に対する股関節可動域変化量の検討	高澤 誠	整形外科
日本人工関節学会誌	Anterolateral approachを用いた人工股関節再置換術(臼蓋側)	重村 知徳	整形外科
千葉医学	第三回千葉医学会奨励賞 全身性エリテマトーデスにおけるステロイド性大腿骨頭壊死の病態解明と予後予測	中村 順一	整形外科
千葉医学	平成23年度猪鼻奨学会研究補助金による研究報告書 特発性大腿骨頭壊死症に対する体外衝撃波療法の臨床応用	中村 順一	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成23年度 総括・分担研究報告書	SLEの再燃に伴うステロイド増量により大腿骨頭壊死の壊死範囲は拡大しうる	中村 順一	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成23年度 総括・分担研究報告書	SLEの再燃に伴うステロイド増量により、新たな骨壊死病変が出現しうる	中村 順一	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成23年度 総括・分担研究報告書	膝骨壊死を伴う割合はステロイド性大腿骨頭壊死症よりアルコール性大腿骨頭壊死症の方が低い	重村 知徳	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成23年度 総括・分担研究報告書	ステロイド性大腿骨頭壊死の圧潰率、手術率を要する割合は膝骨壊死より高い	重村 知徳	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成21～23年度 総合研究報告書	ステロイド性骨壊死の発生頻度と予測因子 -MRI prospective study-	重村 知徳	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成21～23年度 総合研究報告書	SLEの再燃に伴うステロイド増量により大腿骨頭壊死の壊死範囲は拡大しうる	中村 順一	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成21～23年度 総合研究報告書	SLEの再燃に伴うステロイド増量により、新たな骨壊死病変が出現しうる	中村 順一	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成21～23年度 総合研究報告書	大腿骨頭壊死の自然修復に寄与する因子の検討	中村 順一	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成21～23年度 総合研究報告書	膝骨壊死を伴う割合はステロイド性大腿骨頭壊死症よりアルコール性大腿骨頭壊死症の方が低い	重村 知徳	整形外科
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 平成21～23年度 総合研究報告書	ステロイド性大腿骨頭壊死の圧潰率、手術を要する割合は膝骨壊死より高い	重村 知徳	整形外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究平成21～23年度 総合研究報告書	厚生労働省特発性大腿骨頭壊死症研究班病型分類の検者間一致率および検者内一致率	中村 順一	整形外科
Allergy Asthma Proc.	Comparison of nasal steroid with antihistamine in prophylactic treatment against pollinosis using an environmental challenge chamber.	Yamamoto H他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
J Hum Genet.	The functional significance of microRNA-375 in human squamous cell carcinoma: aberrant expression and effects on cancer pathways.	Kinoshita T, Okamoto Y他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Acta Otolaryngol.	The onset of allergic rhinitis in Japanese atopic children: a preliminary prospective study.	Yonekura S, Okamoto Y他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Biochem Biophys Res Commun.	Tumor suppressive microRNA-133a regulates novel targets: moesin contributes to cancer cell proliferation and invasion in head and neck squamous cell carcinoma.	Kinoshita T, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Oncotarget. Review	microRNA-1/133a and microRNA-206/133b clusters: dysregulation and functional roles in human cancers.	Nohata N, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Oncol.	Actin-related protein 2/3 complex subunit 5 (ARPC5) contributes to cell migration and invasion and is directly regulated by tumor-suppressive microRNA-133a in head and neck squamous cell carcinoma.	Kinoshita T, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int Arch Allergy Immunol.	Effects of aging on the natural history of seasonal allergic rhinitis in middle-aged subjects in South chiba, Japan.	Yonekura S, Okamoto Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Oncol.	microRNA-375 regulates lactate dehydrogenase B in maxillary sinus squamous cell carcinoma.	Kinoshita T, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
J Hum Genet.	The functional significance of microRNA-375 in human squamous cell carcinoma: aberrant expression and effects on cancer pathways.	Kinoshita T, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Experimental Cell Reseach	Fibrin glue is a candidate scaffold for long-term therapeutic protein expression in spontaneously differentiated adipocytes in vitro.	Aoyagi Y, Okamoto Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
J Hum Genet on line publication	Association of the MMP9 gene with childhood cedar pollen sensitization and pollinosis.	Inoue H, Okamoto Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
American Journal of Rhinology and Allergy.	Immunological parameters with the development of allergic rhinitis: A preliminary prospective study.	Uekusa Y, Okamoto Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clinical Immunology.	Sublingual administration of Lactobacillus paracasei KW3110 inhibits Th2-dependent allergic responses via upregulation of PD-L2 on dendritic cells.	Inamine A, Okamoto Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Oncotarget.	Tumor suppressive microRNA-1285 regulates novel molecular targets: aberrant expression and functional significance in renal cell carcinoma.	Hidaka H, Nohata N, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Oncol.	Identification of novel molecular targets regulated by tumor suppressive miR-375 induced by histone acetylation in esophageal squamous cell carcinoma.	Isozaki Y, Nohata N, Kinoshita T, 他	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科
Int J Oncol.	Tumor suppressive microRNA-138 contributes to cell migration and invasion through its targeting of vimentin in renal cell carcinoma.	Yamasaki T, Nohata N, Kinoshita T, 他	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科
Jpn J Clin Oncol.	The incidence and significance of retropharyngeal lymph node metastases in hypopharyngeal cancer.	Harada R, Kobayashi H, Okamoto Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科
Int J Oncol. 2012 Jan;40(1):47-52	State of heat shock factor 1 expression as a putative diagnostic marker for oral squamous cell carcinoma.	Ishiwata J	歯科・顎・口腔外 科
Oral Science International 2012;9(1):9- 16.	Down-regulated expression of family with sequence similarity 3, member B (FAM3B), in oral squamous cell carcinoma.	Shiiba M,	歯科・顎・口腔外 科
Int J Oncol.2012 Apr;40(4):1005-1010.	Establishment and characterization of two 5-fluorouracil-resistant hepatocellular carcinoma cell lines.	Uchibori K	歯科・顎・口腔外 科
Breast Cancer Res Treat. 2012 Apr;132(3):793-805.	Tumor-infiltrating lymphocytes are correlated with response to neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer.	Ono M	歯科・顎・口腔外 科
Int J Oncol. 2012 May;40(5):1414-22.	Upregulated expression of ADAM12 is associated with progression of oral squamous cell carcinoma.	Uehara E	歯科・顎・口腔外 科
Int J Cancer. 2012 Jun 15;130(12):2903-2911.	Dermatopontin: a potential predictor for metastasis of human oral cancer.	Yamatoji M	歯科・顎・口腔外 科
J Oral Maxillofac Surg. 2012 Jul;70(7):1593- 1598.	Immunoglobulin G4-Related Sclerosing Inflammatory Pseudotumors Presenting in the Oral Cavity.	Ono K	歯科・顎・口腔外 科
Oncotarget. 2012 Jul;3(7):670-677.	Circulating tumor-derived mutant mitochondrialDNA: a predictive biomarker of clinical prognosis in human squamous cell carcinoma.	Uzawa K	歯科・顎・口腔外 科
Int J Mol Med. 2012 Aug;30(2):243-247.	Gibberellic acid induces α -amylase expression in adipose-derived stem 3, cells.	Kasamatsu A	歯科・顎・口腔外 科
J Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology.2012;in press.	A case of an epidermoid cyst arising in the maxillary sinus.	Sakamoto Y	歯科・顎・口腔外 科
Oral Maxillofac Surg. 2012 Apr 18. [Epub ahead of print]	Epithelioid myoepithelioma of the hard palate.	Kasamatsu A,	歯科・顎・口腔外 科
PLoS One. 2012;7(9):e45510.	Annexin A10 in human oral cancer: biomarker for tumoral growth via G1/S transition by targeting MAPK signaling pathways.	Shimizu T	歯科・顎・口腔外 科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。))。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cancer Res Clin Oncol. 2013 Jan;139(1):123-30.	Tripeptidyl peptidase II in human oral squamous cell carcinoma.	Usukura K	歯科・顎・口腔外科
Mol Carcinog. 2013 Jan 31. [Epub ahead of print]	Decreased expression of kallikrein-related peptidase 13: Possible contribution to metastasis of human oral cancer.	Ishige S	歯科・顎・口腔外科
Cancer Med. 2013 Feb;2(1):40-49.	Targeting phosphodiesterase 3B enhances cisplatin sensitivity in human cancer cells.	Uzawa K	歯科・顎・口腔外科
Int J Oncol. 2013 Jan;42(1):141-50.	High prevalence of epigenetic inactivation of the human four and a half LIM domains 1 gene in human oral cancer.	Koike K	歯科・顎・口腔外科
Int J Oncol. 2013 Apr;42(4):1197-204.	Lipocalin-2 is associated with radioresistance in oral cancer and lung cancer cells.	Shijba M	歯科・顎・口腔外科
J Cancer Res Clin Oncol. 2013 Apr;139(4):533-42.	Exocyst complex component Sec8: a presumed component in the progression of human oral squamous-cell carcinoma by secretion of matrix metalloproteinases.	Yamamoto A	歯科・顎・口腔外科
J Cancer Res Clin Oncol. 2013 Apr;139(4):585-94.	ALY as a potential contributor to metastasis in human oral squamous cell carcinoma.	Saito Y	歯科・顎・口腔外科
PLoS One. 2013;8(2):e56381.	Overexpression of CDCA2 in human squamous cell carcinoma: correlation with prevention of G1 phase arrest and apoptosis.	Uchida F	歯科・顎・口腔外科
信学技報	造影CT画像を用いた肺血栓塞栓症検出アルゴリズムの検討	滝口裕一	臨床腫瘍部
日本呼吸器学会雑誌	気管支充填術が有用であった Mycobacterium avium complex による気胸・胸膜炎の1例	滝口裕一	臨床腫瘍部
Mebic	肺がんの治療—小細胞肺がん治療におけるわが国のエビデンスと小細胞肺がんへの分子標的治療薬適応の展望	滝口裕一	臨床腫瘍部
新臨床腫瘍学(改訂第3版)	がん性胸膜炎	滝口裕一	臨床腫瘍部
腫瘍内科	人材育成のための環境整備(第12回抗悪性腫瘍薬開発フォーラム・記録)	滝口裕一	臨床腫瘍部
呼吸	肥大型骨関節症	滝口裕一	臨床腫瘍部
Journal Of Thoracic Oncology	E1B-55 kDa-defective adenoviruses activate p53 in mesothelioma and enhance cytotoxicity of anticancer agents.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Res.	Serum hepatocyte growth factor and interleukin-6 are effective prognostic markers for non-small cell lung cancer.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
American Journal Of Physiology	CD40 amplifies Fas-mediated apoptosis: a mechanism contributing to emphysema.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Respiratory Investigation	Evaluation of a learning system for endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Breast Cancer Res.	Tumor-infiltrating lymphocytes are correlated with response to neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Cell. Immunol	Expression of a murine homolog of apoptosis-inducing human IL-24/MDA-7 in murine tumors fails to induce apoptosis or produce anti-tumor effects.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
International Journal of Cardiology	Characterization of myofibroblasts in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Cancer Gene Ther.	Upregulated p53 expression activates apoptotic pathways in wild-type p53-bearing mesothelioma and enhances cytotoxicity of cisplatin and pemetrexed.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Journal of Clinical Oncology	Interaction and cross-resistance of cisplatin and pemetrexed in malignant pleural mesothelioma cell lines.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Official Journal Of WASOG	Feasibility of cytological diagnosis of sarcoidosis with endobronchial US-guided transbronchial aspiration. Sarcoidosis, Vasculitis, And Diffuse Lung Diseases	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Journal of Clinical Oncology	Antiproliferative action of metformin in human lung cancer cell lines.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
CEN Case Reports	A case report of mediastinal seminoma arising after renal transplantation	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Sleep Breath.	Tongue position controller as an alternative treatment for obstructive sleep apnea.	Tsuiki S, Isono S, et al.	麻酔・疼痛・緩和医療科
Respir Physiol Neurobiol.	Lung/chest expansion contributes to generation of pleasantness associated with dyspnoea relief.	Nishino T	麻酔・疼痛・緩和医療科
Anesthesiology	Effects of muscle relaxants on mask ventilation in anesthetized persons with normal upper airway anatomy.	Ikeda A	麻酔・疼痛・緩和医療科
J Anesth.	How can we improve mask ventilation in patients with obstructive sleep apnea during anesthesia induction?	Sato Y	麻酔・疼痛・緩和医療科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Surgical Oncology	A phase I/II clinical trial of preoperative short-course carbon-ion radiotherapy for patients with squamous cell carcinoma of the esophagus.	Akutsu, Y.	食道・胃腸外科
Journal of Surgical Oncology	The number of pathologic lymph nodes involved is still a significant prognostic factor even after neoadjuvant chemoradiotherapy in esophageal squamous cell carcinoma.	Akutsu, Y.	食道・胃腸外科
Hepatogastroenterology	A Phase I/II Study of Second-Line Chemotherapy with Fractionated Docetaxel and Nedaplatin for 5-FU/Cisplatin-Resistant Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Akutsu, Y.	食道・胃腸外科
International Journal of Oncology	miR-203 inhibits the migration and invasion of esophageal squamous cell carcinoma by regulating LASP1.	Takeshita, N.	食道・胃腸外科
International Journal of Oncology	Identification of novel molecular targets regulated by tumor suppressive miR-375 induced by histone acetylation in esophageal squamous cell carcinoma.	Isozaki Y.	食道・胃腸外科
Biological Trace Element Research	Are Additional Trace Elements Necessary in Total Parenteral Nutrition for Patients with Esophageal Cancer Receiving Cisplatin-Based Chemotherapy?	Akutsu, Y.	食道・胃腸外科
World Journal of Radiology	Utility of arterial phase of dynamic CT for detection of intestinal ischemia associated with strangulation ileus.	Ohira, G.	食道・胃腸外科
Br J Cancer	Serum microRNA expression profile: miR-1246 as a novel diagnostic and prognostic biomarker for oesophageal squamous cell carcinoma.	Takeshita N.	食道・胃腸外科
食道疾患用語解説集【第2版】(日本食道学会編, 金原出版, 東京)	分担執筆	松原久裕	食道・胃腸外科
千葉医学雑誌	食道癌における重粒子線の臨床応用-さらなる集学的治療の飛躍を目指して-	阿久津泰典	食道・胃腸外科
癌と化学療法	再発大腸癌に対する術前化学療法.	大平学	食道・胃腸外科
International Journal of Medical Education	The contribution of the medical history for the diagnosis of simulated cases by medical students	Tsukamoto T	総合診療部
General Medicine	Questions Predicting Severe Disease in Patients With Abdominal Pain at General Outpatient Department	Kimura K	総合診療部
Internal Medicine	Bilateral upper palpebral edema due to MALT lymphoma	Shikino K	総合診療部
Internal Medicine	Osteomalacia due to a Bladder Reconstruction Performed 35 Years Previously	Hirukawa M	総合診療部

計 15

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所 属 部 門
Journal of General Internal Medicine	Transient Idiopathic isolated Unilateral Hypoglossal Nerve Palsy.	Shikino K	総合診療部
Intern Med	Leukemic presentation of ALK-negative anaplastic large cell lymphoma in a patient with myelodysplastic syndrome	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Secondary solid tumors after allogeneic stem cell transplantation in Japan	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Posterior reversible encephalopathy syndrome in an adult patient with acute lymphoblastic leukemia after remission induction chemotherapy	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Efficacy and safety of nilotinib in Japanese patients with imatinib-resistant or -intolerant Ph+ CML or relapsed/refractory Ph+ ALL: a 36-month analysis of a phase I and II study	Nakaseko C	血液内科
Cancer Sci	Excellent long-term outcomes of imatinib therapy in newly diagnosed Japanese patients with chronic myelogenous leukemia in chronic phase: Analysis of the mean daily doses and blood levels of imatinib in the JALSG CML202 study	Nakaseko C	血液内科
J Hematopoietic Cell Transplant	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for primary and secondary myelofibrosis: a retrospective, multicenter study of the Kanto Study Group for Cell Therapy (KSGCT)	Nakaseko C	血液内科
Neurology	Markedly upregulated interleukin-12 as a novel biomarker in POEMS syndrome	Nakaseko C	血液内科
Endoscopy	Endoscopic findings of small-intestinal Epstein-Barr virus-associated T-cell lymphoproliferative disorder.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Factors associated with the efficiency of peripheral blood stem cell harvest in patients with POEMS syndrome undergoing autologous peripheral blood stem cell transplantation	Nakaseko C	血液内科
Blood	Ezh2 augments leukemogenicity by reinforcing differentiation blockage in acute myeloid leukemia	Nakaseko C	血液内科
Leukemia	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult AML patients with granulocytic sarcoma	Nakaseko C	血液内科
J Clin Exp Hematop	Hepatitis B Reactivation in a Multiple Myeloma Patient with Resolved Hepatitis B Infection during Bortezomib Therapy : Case Report.	Nakaseko C	血液内科
Cochrane Database Syst Rev	Treatment for POEMS (polyneuropathy, organomegaly, endocrinopathy, M-protein, and skin changes) syndrome	Nakaseko C	血液内科
Clin Chim Acta	Circulating soluble LR11/SorLA levels are highly increased and ameliorated by chemotherapy in acute leukemias	Nakaseko C	血液内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol	Occurrence of lymphoplasmacytic lymphoma 6 years after amelioration of primary cold agglutinin disease by rituximab therapy	Nakaseko C	血液内科
Cancer Sci.	Long-term outcome and prognostic factors of elderly patients with acute promyelocytic leukemia	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Mobilization of peripheral blood stem cells in poor mobilizers with POEMS syndrome using G-CSF with plerixafor.	Nakaseko C	血液内科
Oncol Rep	Antiproliferative action of metformin in human lung cancer cell lines	Sakaida E	血液内科
Oncol Rep	Interaction and cross-resistance of cisplatin and pemetrexed in malignant pleural mesothelioma cell lines	Sakaida E	血液内科
Journal: Angiology	Title: Recovery of endothelial function after sirolimus-eluting stent implantation: a pilot study	H. Kitahara	循環器内科
Journal: Arterioscler Thromb Vasc Biol	Title: Brain-derived neurotrophic factor protects against cardiac dysfunction after myocardial infarction via a central nervous system-mediated pathway	S. Okada	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Efficiency of quantitative longitudinal peak systolic strain values using automated function imaging on transthoracic echocardiogram for evaluating left ventricular wall motion: New diagnostic criteria and agreement with naked eye evaluation by experienced cardiologist	M. Takahashi	循環器内科
Journal: J Am Geriatr Soc	Title: Relationship between testosterone and cognitive function in elderly men with dementia	Y. Kobayashi	循環器内科
Journal: J Infect Chemother	Title: Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the Surveillance Committee of Japanese Society of Chemotherapy, Japanese Association for Infectious Diseases, and Japanese Society for Clinical Microbiology in 2009: general view of the	Y. Kobayashi	循環器内科
Journal: J Invasive Cardiol	Title: Successful delivery of polytetrafluoroethylene-covered stent through 5 French guiding catheter	Y. Fujimoto	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Adverse effects of cilostazol on left ventricular function in a patient with a sigmoid shaped interventricular septum	T. Umazume	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Clinical significance of fat infiltration in the moderator band and right ventricular myocardium in multislice CT, and its association with abnormal conduction seen in electrocardiogram	M. Uehara	循環器内科
Journal: Heart Vessels	Title: Efficacy and safety of low-dose clopidogrel in Japanese patients after drug-eluting stent implantation: a randomized pilot trial	K. Ohkubo	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Specific organized substrates of ventricular fibrillation: Comparison of 320-slice CT heart images in non-ischemic ventricular fibrillation subjects with non-ischemic sustained and non-sustained ventricular tachycardia subjects	K. Ozawa	循環器内科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal: Int J Cardiol	Title: Progressive massive and linear fat replacement on computed-tomography and inflammation on positron emission tomography observed in a young male with interventricular septum-originated critical ventricular tachycardia	H. Takaoka	循環器内科
Journal: Am Heart J	Title: Effects of stem cell mobilization by granulocyte colony-stimulating factor on endothelial function after sirolimus-eluting stent implantation: a double-blind, randomized, placebo-	Y. Iwata	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Progressive left ventricular myocardial fat invasion in arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy	H. Takaoka	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Left-atrial wall thickening may be an important-response in systemic hypertension as well as left-ventricular hypertrophy and more remarkable than left-ventricular diastolic dysfunction and left-atrial enlargement	H. Takaoka	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Adaptive-Iterative-Dose-Reduction 3D with multisector-reconstruction method in 320-slice CT may maintain accurate-measurement of the Agatston-calcium-score of severe-calcification even at higher pulsating-beats and low tube-current in vitro	N. Funabashi,	循環器内科
Journal: Int J Cardiol	Title: Percentage of poster and oral abstracts at the American College of Cardiology 58th annual scientific session 2009 that achieved publication with their journal impact factors	N. Mizuno	循環器内科
Journal: Circ J	Title: Effects of pitavastatin in Japanese patients with chronic heart failure: the Pitavastatin Heart Failure Study (PEARL Study)	H. Takano	循環器内科
Spine.	Neuroprotective therapy using granulocyte colony-stimulating factor for patients with worsening symptoms of thoracic myelopathy: a multicenter prospective controlled trial.	Sakuma T	臨床試験部
J Clin Immunol.	Accumulation of Activated Invariant Natural Killer T Cells in the Tumor Microenvironment after α -Galactosylceramide-Pulsed Antigen Presenting Cells.	Nagato K	臨床試験部
BMJ Open	Strategy for treating selective serotonin reuptake inhibitor-resistant social anxiety disorder in the clinical setting: a randomised controlled trial protocol of cognitive behavioural therapy in combination with conventional treatment.	Yoshinaga N	臨床試験部
BMJ Open	Home Telemonitoring Study for Japanese Patients with Heart Failure (HOMES-HF): Protocol for a multicenter randomized controlled trial	Kotooka N	臨床試験部
Doc Ophthalmol 2012	Recovery of visual function in patient with melanoma-associated retinopathy treated with surgical resection and interferon beta	Yamamoto S	眼科
Ophthalmology 2012	Comparison of vitrectomy with brilliant blue G and indocyanine green on retinal microstructure and function of eyes with macular hole	Baba T	眼科
Ophthalmol Ther 2012	Topical isopropyl unoprostone for retinitis pigmentosa: microperimetric results of the phase 2 clinical study	Yamamoto S	眼科
Case Reports in Ophthalmological Medicine 2012	Refractory uveitis in patient with Castleman disease successfully treated with tocilizumab	Oshitari T	眼科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PLoS One. 2012	Two novel mutations in the EYS gene are possible major causes of autosomal recessive retinitis pigmentosa in the Japanese population	Hosono K,	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 2013	Panretinal photocoagulation with simultaneous cryoretinopexy or intravitreal bevacizumab for neovascular glaucoma	Tatsumi T	眼科
Ind J Ophthalmol 2013	Improvement of central retinal sensitivity six months after isopropyl unoprostone in patients with retinitis pigmentosa	Tawada A	眼科
Journal of Spinal Cord Medicine	Granulocyte colony-stimulating factor reduced neuropathic pain associated with thoracic compression myelopathy: report of two cases	Yamazaki M	整形外科
PLoS One	G-CSF Protects Oligodendrocyte and Promotes Hindlimb Functional Recovery after Spinal Cord Injury in Rats	Kadota R	整形外科
European Spine Journal	Intravenous administration of granulocyte colony-stimulating factor for treating neuropathic pain associated with compression myelopathy: a phase I and IIa clinical trial	Kato K	整形外科
Spine	Neuroprotective therapy using granulocyte colony-stimulating factor for patients with worsening symptoms of thoracic myelopathy: a multicenter prospective controlled trial	Sakuma T	整形外科
European Spine Journal	Neuroprotective therapy using granulocyte colony-stimulating factor for acute spinal cord injury: a phase I/IIa clinical trial	Takahashi H	整形外科
European Spine Journal	Neuroprotective therapy using granulocyte colony-stimulating factor for patients with worsening symptoms of compression myelopathy, Part 1: a phase I and IIa clinical trial	Sakuma T	整形外科
日本整形外科学会雑誌	脊髄再生研究の臨床応用における課題とその最先端 基礎から臨床へ 急性脊髄損傷および圧迫性脊髄症急性増悪例に対するG-CSF神経保護療法医師主導型自主臨床試験	山崎正志	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	脊髄障害性疼痛に対するG-CSFの効果 医師主導型自主臨床試験例による解析	加藤啓	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	マウス脊髄損傷モデルに対するG-CSF動員末梢血幹細胞移植の治療効果	高橋宏	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	顆粒球コロニー刺激因子を併用した圧迫性胸髄症急性増悪期例の治療成績 多施設前向き比較対象試験 胸髄症に対するG-CSF	佐久間毅	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	圧迫性頸髄症急性増悪例に対するG-CSFを用いた神経保護療法 多施設前向き比較対象試験 頸髄症に対するG-CSF神経保護療法	佐久間毅	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法 多施設前向き比較対照臨床試験	高橋宏	整形外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本整形外科学会雑誌	臨床への橋渡し研究の現状 脊髄 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法	国府田正雄	整形外科
千葉医学	脊髄障害性疼痛に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の治療効果	加藤啓	整形外科
整形・災害外科	【再生医療の現状と最前線】再生医療の現状と展望 細胞を用いない再生医療 脊髄損傷におけるG-CSF神経保護療法の開発	高橋宏	整形外科
日本整形外科学会雑誌	急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法—医師主導型自主臨床試験—	山崎 正志	整形外科
日本整形外科学会雑誌	髄損傷後神経障害性疼痛に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の除痛効果の解析	加藤啓	整形外科
日本整形外科学会雑誌	髄損傷に対するG-CSF動員末梢血幹細胞移植脊治療の開発	高橋宏	整形外科
日本整形外科学会雑誌	急性脊髄損傷に対するG-CSF神経保護療法の多施設前向き比較対象臨床試験 —投与後1年経過例の解析—	高橋宏	整形外科
日本整形外科学会雑誌	急性脊髄損傷に対するG-CSF神経保護療法の有効性と安全性—テルプレドニゾン大量投与療法との比較	高橋宏	整形外科
日本整形外科学会雑誌	圧迫性脊髄症急性増悪例に対するG-CSF神経保護療法の成績—疾患・病態による治療効果の差異について—	古矢文雄	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	急性脊髄損傷に対するG-CSF神経保護療法の長期経過の検討 多施設前向き比較対照試験から	高橋宏	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	急性脊髄損傷に対するG-CSF神経保護療法とメチルプレドニゾン大量投与療法の比較検討 自主臨床試験から	高橋宏	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	圧迫性脊髄症に伴う脊髄障害性疼痛に対するG-CSF神経保護療法の治療効果 医師主導型自主臨床試験による解析	加藤啓	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	高度肥満および脊髄症急性増悪を呈する若年発症胸椎後縦靭帯骨化症の一例 —術前G-CSF神経保護療法の有用性—	神谷光史郎	整形外科
日本脊髄障害医学会誌	頸椎症性筋委縮症に対しG-CSF神経保護療法が有用であった1例	稲田大悟	整形外科
Journal of Spine Research	脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)による神経保護療法	国府田正雄	整形外科

計 15

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 宮崎 勝	
管理担当者氏名	企画情報部長 高林克日己 医療安全管理部長 岡本美孝 ME機器管理センター長 織田成人 医事課長 阿尾守己	薬剤部長 石井伊都子 感染症管理治療部長 佐藤武幸 総務課長 中湖博則 医療サービス課長 田辺 朗

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 各診療科 企画情報部 薬剤部 医療サービス課 (診療情報管理係)	診療録は、入院・外来別に一患者一ファイル方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務係	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課及び医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部及び医療サービス課	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部及び医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部及び医療サービス課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染症管理治療部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び医療サービス課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び医療サービス課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染症管理治療部及び医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染症管理治療部及び医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染症管理治療部及び医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染症管理治療部 医事課 医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部及び薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 宮崎 勝		
閲覧担当者氏名	総務課長 中湖 博則	管理課長 仲野 竜也	
	経営企画課長 加瀬 治信	医事課長 阿尾 守己	
	医療サービス課長 田辺 朗		
閲覧の求めに応じる場所	会議室		

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	96.3 %	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	19,879	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,191	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,744	人
	D: 初診の患者の数	24,041	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 医療機関における安全管理に関する基本的考え方 医療機関に係わる安全管理のための委員会等その他医療機関内の組織に関する基本的事項 医療に係わる安全管理のための職員研修に関する基本方針 医療機関における事故報告等の医療に係わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 医療事故発生時の対応に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針を含む） 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容： 安全管理体制の整備、安全管理のためのマニュアル整備 インシデントからの改善のための方策の検討 医療安全に関する教育及び職員研修の実施 院内における医療安全への取組みへの啓蒙</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 0 回
<p>・ 研修の主な内容： BLS（一次救命処置）研修 医療事故防止セミナー（3回） 急変対応セミナー（5回） ベストプラクティス発表会</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有）無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例に基づき、改善状況を院内ラウンドにて確認している。 各部署での医療安全対策についての取組みを「ベストプラクティス」として募集し、優秀な取組みに対して表彰を行っている。 部署へ出向き、インシデント分析の指導・研修を行っている。</p>
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 2 名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 4 名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員： 専任（ 3 ）名 兼任（ 1 8 ）名 ・ 活動の主な内容： インシデント報告の収集・分析・具体的な改善策の提案及び現場へのフィードバックに関すること 医療安全のための研修の企画・運営に関すること 医療事故等の原因究明・関係する記録等の記載の確認・指導に関すること 医療事故防止・病院倫理委員会の庶務及びその他医療安全に係わる連絡調整に関すること その他医療安全対策に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容： 病院感染対策に関する基本的考え方 病院感染対策のための委員会 病院感染及び感染症に関する情報の共有 病院感染発生時の対応 病院感染対策のための研修等 基本指針の公表 マニュアル等の整備 その他の病院感染対策（国立大学病院感染症協議会、加算1連携病院及び千葉院内感染地域支援ネットワークとの連携）</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年11回
<p>・ 活動の主な内容： 院内講習会、針刺し対策、抗菌薬についての検討、インフルエンザワクチン接種、内視鏡ラウンド、蓄尿・尿カテーテル調査、リンクドクター・ナース会議、病原菌報告、職員のウイルス抗体・ワクチン接種、新型インフルエンザ対策、実習生の感染管理教育、多剤耐性菌対策、蓄尿の減少、サーベイランス結果と対策（ベンチレータ関連肺炎、術後感染症、カテーテル関連血流・尿路感染症）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容（講師）： 軟性内視鏡の一元管理への取り組み～材料部での一括再生処理について～ 外部講師 手指衛生～手洗いの現状と必要な場面とは～ 感染症管理治療部職員 結核感染対策について 感染症管理治療部職員</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各部門にリンクドクター・ナース・スタッフ（メーリングリストで直接連絡） インフルエンザ発生時の原因分析・対策立案・職員等への周知及びワクチン接種、 ICTによる院内巡視（週1回） ICTによるMRSA、緑膿菌、ジフィシル菌、血流感染のチェックと指導（最低週1回）</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 抗がん剤の取扱いについて（兼：研修医ガイダンス） 医薬品情報の入手・活用方法（兼：医療事故防止セミナー） 注射薬について ー注射薬の特徴と取り扱い上の注意点ー（兼：看護部新採用者早期研修）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 （有・無）業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手続きに基づいた薬事委員会の開催及び適正購入の実施 医薬品の購入及び麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 実施状況の確認 等	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直し及び医薬品安全管理のための業務手順書の順次改訂と院内への周知徹底 医薬品安全使用のための情報提供方法の工夫（薬事委員宛、各診療科・部門へのメールによる通知、ホームページへの掲載、使用診療科・患者を特定し個別に情報提供、処方入力時の注意喚起メッセージ表示、オーダーリングシステムからも参照可能なイントラネットを利用した情報提供、病棟に出向いての新規薬剤取扱い上の注意点の説明）	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 人工呼吸器・輸液・シリンジポンプ・閉鎖式保育器・血液浄化装置・人工心肺及び補助循環装置・除細動器等、年10回程度 診療用高エネルギー放射線発生装置（リニアック）の安全講習会（年2回、第1回9/24予定） 診療用放射線照射装置（アフターローディング）の安全講習会（年2回、第1回8/1済）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (○有・無)保守点検の主な内容： 生命維持管理装置（人工心肺および補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置・徐細動器・閉鎖式保育器・放射線装置） 当院で定めた機器（輸液・シリンジポンプ・フットポンプ・生体情報モニタ・MRI装置 等）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 機器管理を主たる業務とする臨床工学技士を配置し、院内の安全管理部員を兼任とすることで、院内で起こった医療機器に関するインシデント等に早急に対応、安全管理部との共同配信文書として院内へ配信することができている。 また、全体で行う院内講習会のほか、インシデント発生等の際には原因を究明し、部署別・事例別の講習会を開催し、再発防止に努めている。	